

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

1

Jan 2016
Vol.248



ときめき人

登米地区交通安全協会Aチーム

【特集】

新たなる挑戦

Zoom Up Tome2016

三浦宗大・藤野尚之

【今月の表紙】

第1回新田・食の文化祭から

2005.4.1~

市制施行
10周年

これまでも
これからも

目標実現に向け、着実かつ果敢に取り組む

登米市長 布施孝尚

明けましておめでとうございます。市民皆さまにおかれましては、平成28年の輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年4月、登米市誕生から10周年という大きな節目を迎えました。この間、東日本大震災をはじめ、さまざまな苦難に直面することもありました。しかし、市民皆さまのお力添えにより、今日を迎えていることに、感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は2月に市政施行10周年を記念して、市民皆さまに広く親しまれ、さらなる一体感を醸成するため市民歌を制定し、6月に開催した10周年記念式典の席上で披露いたしました。今後永く愛され、地域の行事などで歌い継いでいただきたいと思っております。

9月には、平成28年度から37年度までを計画期間とする

「第二次登米市総合計画」を策定し、人口減少の克服とともに、本市の持続的な発展のために最も効果が期待できる方策を重点戦略として位置付け「少子化」「健康長寿」「雇用」「定住」「魅力向上・交流」の五つの項目に重点的に取り組んでいきます。

また、この重点戦略を基本とする「登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を10月に策定しました。人口減少や少子高齢化の急速な進行への対応は、本市の喫緊の課題です。子どもを安心して産み育て、健やかに成長できる環境づくり。高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らすことのできる仕組みづくり。そして、農産物などの豊富な地域資源の活用や企業誘致などの産業振興を総合的に推進する体制づくりが重要となります。大きな社会構造の変化へ柔軟に対応し、活力のあるまちを持続できるよう、市民の皆様

さまと一丸となって進めていきたいと考えています。

また、環太平洋経済連携協定(TPP)が交渉参加国の関係閣僚会合で大筋合意されました。今後、協定が発効されると、幅広い品目で段階的に関税が削減、撤廃されます。市としては、今後示される国のTPP関連の具体的な農林水産業対策の内容を踏まえ、意欲ある農業者が希望を持って従事できるよう、積極的な支援を検討していきます。

平成28年は、登米市の新たな10年に向けたスタートの年です。総合計画の将来像である「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現を目指し、着実かつ果敢に市政運営に取り組んでいきます。

結びに、本年が皆さまにとって健やかで実り多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさついたします。

誰もが安心して暮らせるまちづくりへ

登米市議会議員 沼倉利光

明けましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

年頭にあたり、議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年4月、上沼高校、米山高校、米谷工業高校の3校と登米高校の商業科が統合し、登米総合産業高校が開校しました。「学科の枠を超えて、地域と一緒に、特色ある教育活動で、産業スペシャリストを育てる」という素晴らしい教育理念の下に、登米市の未来を支える多くの人材が巣立つことを心より祈念しています。

さて、安倍首相は昨年「アベノミクスは第2ステージに移る」と宣言し、新たな「3本の矢」を発表しました。しかし「旧3本の矢」の一つである成長戦略は、今なお道半ばと評されています。市内の商業者からは「いまだその微風さ

えも吹いていない」との声を聞きます。

また、政府は昨年、TPP交渉での国会決議に違反して、大筋合意をしました。農業を基幹産業とする本市にとって、農家の不安は募るばかりです。登米市は今年、合併12年目を迎えます。昨年9月、今後10年間のまちづくりを見据えて「第二次登米市総合計画」が策定されました。これに基づき、最重要課題である人口減少を克服し「少子化、健康長寿、雇用、定住、魅力向上・交流」の五つの重点項目に取り組み、本市の持続的な発展を切望するものです。

議会では、昨年1月に通年議会制を導入しました。会期を通年にしたことで、議会の判断で会議を開けます。緊急を要する事態への迅速な対応や、行政に対するチェック機能を十分に発揮できるようにになりました。休会中でも委員会活動ができることから、市

民との意見交換など、より主体的、機動的に活動を展開し、その使命を果たしていきます。

また昨年3月、庁舎建設に関する調査特別委員会を設置しました。新庁舎建設の是非も含め、十二分に協議し、結論を出していきます。

現在、議会資料のペーパーレス化や経費の削減、情報の提供・収集の迅速化などに向けて、タブレット端末の導入を検討しています。今後とも、さまざまな形で議会改革を推進していきます。

本年は、市長、議員の任期の最終年度となります。市民の皆さまが、安心して暮らせるまちづくりにまい進できるよう、議会一丸となってその責務を果たしていく所存です。

結びに、市民の皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、本市議会に対しましてなお一層のご提言、ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のあいさついたします。

迎春

2016年頭のあいさつ

沼倉利光 議長
Toshimitsu Numakura

布施孝尚 市長
Takahisa Fuse



①出場チームを代表して、本市の鈴木隊長が「操法に当たっては、消防精神を深く認識し、正々堂々実施します」と選手宣誓②ウォーミングアップ終了後、本番でベストを尽くせるよう最終調整をする③緊張が高まる本番直前。選手に声をかける隊員。「いつもどおりで大丈夫」④競技開始。半年間の努力と思いを、50秒わずかの時間に込める⑤競技終了後、涙を流して抱き合う隊員たち。その涙は悔しいものではなく、「心一つ」にした半年間の「思い」の証



開会。登米市は出場順24番中20番目で、競技開始から約3時間後の出場。早めに昼食を取り、出場1時間前からウォーミングアップを開始する。選手それぞれが自分の動きを確認。支援に回った隊員たちは、選手の動きをチェック。注意点を的確にアドバイスする。徐々に緊張感が高まっていく。

競 技開始10分前、大会コース入り。選手を組む意志統一、選手をコースに送り出す。午後1時40分、競技開始。定位に着く選手たち。選手、応援団に緊張が走る。審査員の合図の後、櫻井指揮者の「操作始め」の号令で一斉に動き出す。選手たちの動きに固さは見られない。二つの標的が落下、大きなミスはなく無事終了。タイムは55秒72、得点69点。誰もが緊張する大舞台で、ベストタイムを更新。上位入賞を期待したが、結果は惜しくも15位。しかし、敢闘賞を受賞した。

競技終了後、引き上げてきた選手の中には涙が。その涙は、選手だけではなく、隊員、消防団員、市職員など、全ての登米市関係者の目にも浮かんでいた。



新たな挑戦

全国女性消防操法大会に、宮城県代表として出場し、46チーム中、15位と好成績を残した登米市女性消防隊。本市からの出場は、豊里町婦人消防隊以来27年ぶりのこと。チーム結成から大会までの半年間を追う。

第22回全国女性消防操法大会

は10月15日、神奈川県横浜市で開催され、登米市女性消防隊（鈴木かず江隊長）は宮城県代表として出場した。宮城県の代表は、県内全域の消防力の向上を目的に各地域の輪番で出場。登米市勢としては、1988年の第4回大会の豊里町婦人消防隊出場以来、実に27年ぶりの出場となった。宮城は強豪として名が知れており、豊里町婦人消防隊、一

昨年出場の大和町女性消防隊は共に優勝している。「優勝旗を次の県代表に引き継ぐ」を合言葉に、半年間訓練に取り組んできた鈴木隊長以下、9人の隊員たち。大会は見事な秋晴れの下、華々しく

全国女性消防操法大会：地域での防災意識を高めようと、消防庁と日本消防協会が隔年で開催。全都道府県代表の47隊が出場し「軽可搬ポンプ操法」で競われる。ポンプ操法は、20分のホースを3本つなぎ、さらに停止線から10分先の二つの標的に放水、落とすまでの時間と正確な技術などを審査される。

消防本部



登米市消防本部 佐々木建待消防長

隊員の皆さん、大変お疲れさまでした。半年間の訓練の成果を見事に披露してくれました。出場順が後ろから5番目と、集中力の維持が難しい順番にも関わらず、大きな失敗もなく、登米市「火消し女子」の気概を見せてくれました。これまで、協力いただいた1600人の団員の皆さんに感謝します。

関係者に聞く

より上位への思いから、若手中心のメンバー編成をするチームは少なくありません。そのような中、20~50代がいる「当たり前」の編成で、この結果を出した彼女たちは登米市消防団の誇り。男性でも厳しい訓練を、母として、妻として、社会人として、半年間頑張ってくれたことに感謝しています。

消防団



登米市消防団 佐々木敏朗団長

隊員家族



高野正彦さん (神奈川県横浜市)

姉が、登米市の指揮者として出場するので応援に来ました。私も、10年ほど前から横浜市消防団に加入。団員として活動しています。ウォーミングアップを見たときは、動きに固さが見られ、少し不安になりました。しかし、本番では大きなミスもなく、よい操法だったと思います。

女性消防隊OG



森高清美さん (豊里町西二ツ屋)

私たちが、豊里町婦人消防隊として出場した時とは、時代や条件が違い、大変だったと思います。当時の隊員のほとんどは、自営や専業主婦で、日中に訓練ができました。本番独特のプレッシャーは、出場した人間でなければ分かりません。そのような中、ベストタイムを更新するのは大変なことです。

Group Members 2015



Masumi Sato
佐藤ますみ (隊員：米山支団)

半年という長丁場で、モチベーションを保つこと、隊員全員で意思疎通を図り、チームワークを高めることに腐心しました。訓練中は、うまく動けないこともあり、何度となく心が折れました。しかし、仲間、家族、消防団員の皆さんの支えがあり、乗り切ることができました。本当に感謝しています。

Mitsue Chiba
千葉美津恵 (隊員：迫支団)

子育ても一段落し、何かに挑戦したいと思っていました。選手を募集しているとの話を聞き、手を挙げました。仕事と家庭の両立、そして訓練参加のための時間調整は思っていた以上に大変でした。大会は支援ということで、葛藤はありませんでしたが、一丸となり一つの目標に向けて努力できたことが、この挑戦での収穫です。



Mutsumi Takeda
武田睦美 (隊員：米山支団)

隊員の年代構成が幅広かったので、いかに「心一つ」になれるかと考えていました。この半年間、自分の中でさまざまな葛藤がありました。しかし、多くの皆さんの支えにより、感謝の気持ちを持って終えることができました。同じ目標を持ち、心一つに過ごした半年は、私の宝であり、誇りです。

Ayana Asai
浅井彩奈 (4番員：南方支団)

訓練が始まってすぐの規律訓練は、動作を覚え周りと合わせることに苦労しました。本番が始まってからは無我夢中で、ほとんど覚えていません。気づいたら始まり、気づいたら終わって努力しました。この半年間、一つの目標に向かって努力し、それをやり遂げられたことは、消防団員として一つ成長できたと思っています。



Manami Suzuki
鈴木愛美 (補助員：米山支団)

支団での演習でポンプ操法を経験。これまでの訓練の成果を生かしたいと思い、手を上げました。上位入賞を目標に、日々訓練。動きの中でうまくいかないところがあり、訓練前に自宅で練習を重ねました。本番では、力を出し切れて、ほっとしました。チームが一つになって流した涙は忘れられません。



努力を重ねた「火消しなでしこ」たち。
この半年間を振り返る。



Suzue Suzuki
鈴木すず江 (隊長：米山支団)

消防団には、旧米山町で女性消防団を立ち上げる時から携わってきました。選手ではなく、隊長という立場での参加。成功裏に終えるためには、いかにチームとしてまとまれるかだけを考えて行動してきました。この取り組みに快く送り出してくれた家族、そして協力いただいた全ての人たちに感謝しています。

Nayoko Sakurai
櫻井奈代子 (指揮者：米山支団)

女性消防団の幹部候補研修で、他県の参加者が熱く操法大会のことを熱く語ってくれました。登米市に出番が回ってくると聞き「熱さ」を体験したいと手を挙げました。この「熱さ」は、自分にとって本当に貴重な体験でした。大げさかもしれませんが、操法大会は今まで生きてきたことを表現する場でした。



Megumi Suzuki
鈴木めぐみ (1番員：米山支団)

年齢を重ねるごとに、熱い気持ちや何かに懸命に取り組むことがなくなっていました。今回、操法大会に参加する機会をいただき、熱い気持ちで半年間過ごせました。物事に挑戦するのに「年齢は関係ない」ということに気づきました。このような機会を与えていただいたこと、本当に感謝しています。



Ai Iwabuchi
岩淵亜衣 (3番員：米山支団)

友人に誘われ消防団に入り、同じ流れで操法大会に挑戦することを決めました。団員としての経験もなく、本当にゼロからのスタートだったので、いろいろと苦労しました。この半年間は、長いようで短い不思議な感覚の時間でした。操法大会を通じて、人とのつながりの大切さなどを知り、大きく成長できたと思います。



Yoshie Umemoto
梅本美江 (2番員：米山支団)

消防団に入ってから、操法大会への挑戦を決意。このめぐり合わせに感謝しました。訓練が始まってからは、自分の出来なさ具合に悩むこともありました。多くの人たちの支えがあり迎えた本番。「後悔をしない」ことを胸に臨みました。結果、これまでで一番の操法が出来たと思います。この半年は、長くて短い素敵な時間でした。



人として一回り成長



Hidehiko Suzuki

登米市消防本部
警防課
鈴木秀彦課長

演技終了後、選手、隊員、応援団の誰もが涙を浮かべて抱き合っていました。その時、この半年間の取り組みは間違いでなかったと思えましたね。

訓練開始時に「本番が終わった時『悔いのない訓練ができ、半年間続けてよかった』支えてくれた全ての人たちに『支援してよかった』と思われようしよう」と隊員に話しました。結果だけではなく、消防団員として、一人の女性として成長してほしかったからです。4月から活動を開始し、ベテラン、新人に関係なく、基礎の基礎である規律訓練や基本動作を徹底しました。普段の訓練では問題のない動作も、大会ではより精度が求められるので、ポンプ操法も放水をせず、基本訓練を徹底しました。基本的な動作がしっかりしないと、タイムに影響するからです。放水まで時間がかかったため、隊員たちは「気をもんだ」と思っています。大会で良い操法をするためには、一人一人の努力はもちろん、選手6人が同じイメージを描ける必要があります。演技終了後、選手、隊員、応援団の誰もが涙を浮かべて抱き合っていました。その時、この半年間の取り組みは間違いでなかったと思えましたね。

優勝を目指し、1年以上の優訓練を経て大会に臨むチームも少なくない。

そのような中、登米市女性消防隊は、2015年4月から訓練を開始した。大会までの訓練日数は55日、訓練時間は130時間。メンバーについても、特別な選抜方式ではなく、女性消防団員からの手上げ方式で集め、その構成は20〜50代が集まる普通のものである以上、上位入賞を目指す。しかし、そのメンバーを能力の高い人だけを集めて特別編成にしても、現場の活動に繋がらない。各支団の女性消防団員から希望者を募り、年代など全てのバランスを考慮して隊員を選んだ」とその選考理由を話す。

4月28日、訓練をスタート。当初の内容は規律訓練だけだった。規律訓練は、部隊行動時の立ち振る舞いを教育するもの。この訓練は7月上旬まで続けられた。また、実際にポンプを使用して放水するまでは、ポンプを使っている動きだけの訓練だった。「操法大会は採点競技で減点法。タイムも影響するが、基本的な動きができていないと点数は伸びない」と鈴木課長は基本



①放水訓練初日、その水圧の強さに隊員一同驚いた②操法大会前、最後の訓練。4人の呼吸は乱れることなく、滑らかですばやい動きに。③訓練中盤、ポンプやホースなどの取り扱いにも徐々に慣れはじめた④訓練開始直後のホース延長。思う方向になかなかホースが伸ばせない⑤隊員たちが万全な訓練ができるよう、支援した消防団員。彼女たちの活躍は、団員の支援があったからこそ

80秒から始まった操法 基本訓練で一歩ずつ成長

的な動きの重要性を語る。まずは、基礎的、基本的な訓練を徹底した。

7月8日、初めての放水訓練。隊員たちの口から「ようやくここまで来た」との声が聞かれた。丸2カ月以上、動きだけの訓練だったので、ようやくポンプ操法をしていく実感が湧いた。この3日後、タイムを初計測。80秒だった。入賞のためには、最低でも20秒は縮める必要があった。

8月中旬、この辺りから、自分たちでミス指摘しあうようになってきた。隊員同士のコミュニケーションがとれ、

操法の動きを本当の意味で理解し始めていた。しかし、操法のタイムは伸び悩んでいた。いつまでも順調にいくわけではない。大会への重圧と、自分へのふがいなさに涙を流す隊員もいた。

9月上旬、隊員同士が具体的な指示を出すようになってきた。他人だけではなく、自分の動きも見えるように。また、本番を想定し、市消防団演習時に操法を披露。それまでのベストタイムを更新し、57秒を出した。大会まで残り1カ月、ようやく全国の舞台が見え始めた。

気持ちは共に大舞台へ



神原たけ子さん (米山支団班長)

私は、鈴木隊長と共に、2005年の米山町女性消防団の発足時から活動しています。それだけに、全国大会への思いは強くありました。自分が出られない分、隊員たちを全面的に支援することとしました。支団内で話し合い、なるべく負担をかけないようにしようと、一生に一度の大舞台、支援する私たちも一緒に参加し、仲間たちと思いを共にしたかったので。隊員たちは、週2回以上の訓練なので、支団での行事はなるべく免除しました。時間もですが、体力面でもかなりハードでしたから、訓練支援をしたときに「よく体が持った」と感じ、心配もしました。けがなく終わることができて本当によかったと思います。

大会にも当然応援に行きました。仲間たちは大舞台で、見事なポンプ操法を見せてくれました。立場は違えど、共に頑張ってきてよかったと心から思っています。

さあ行こう

挑戦するのに
遅い、早いはない
大切なのは行動に
移すこと



宮城県

訓練開始直後から約半年間、彼女たちを追ってきた。隊員全員が仕事を持つ社会人。それぞれが、仕事との折り合いをつけながら、週2回以上午後7時から9時までの訓練を約半年間続けてきた。また、隊員10人のうち6人が既婚者。仕事以外にも家族の面倒を見ながらの取り組みであった。女性の社会参画が当たり前になってきたとはいえず、隊員たちには相当な苦労があったはず。彼女たちの取り組みには頭が下がる。

全国大会直前の訓練で、その支援に来ていた市消防団登米支団の秋山光穂さんは「彼女たちの取り組み姿勢は素晴らしい。仕事や家庭を持ち、そちらと訓練日程の調整だけでも大変なはず。体力的にも、精神的にも疲れているはずなのに笑顔絶やさず努力している。そしてひたむきに努力している。だから、ほとんど素人だった彼女たちが、(上位入賞を狙える)ここまで伸びてきたのだらうね。彼女たちを見てみると協力したくなるんだよ」と語っていた。

2011年、ドイツワールドカップで女子サッカー大國アメリカとの激戦を制し優勝した、サッカー日本代表女子チーム「なでしこジャパン」。彼女たちが、身体的に不利な相手にも物おしせず、ひたむきにプレーする姿は、東日本大震災後の日本に勇気と希望を与えた。世界一に輝いたその後も挑戦を続け、12年ロンドンオリンピック、15年カナダワールドカップで準優勝と輝かしい成績を残した。

なでしこジャパンと登米市女性消防隊員には共通点がある。それは「挑戦」すること。なでしこジャパンは、女子サッカー黎明期から「世界一」を目標に挑戦し続けてきた。そして、世界の頂点にたどり着いた。しかし、目標を達成してもそこで終わらず、新たな目標に向けて、挑戦を続けている。

女性消防隊員たちは、家庭や仕事を持ちながらも、全国大会に挑戦をした。人はある程度の年齢になったり、現状では厳しいと思ったりして、新しい挑戦をあきらめることが多い。しかし、彼女たちは教えてくれた。何かに挑戦することは、年齢や状況であきらめなくていい。大切なのは「できるか、できないか」と考えるのではなく「やるか、やらないか」で行動に移すこと。全ては自身の気持ちの持ち方一つだということ。

あなたも女性団員に入団キャンペーン



消防団の活動には、火災や災害への対応のほか、応急手当の普及、高齢者住宅への防火訪問、防火防災教室の開催などがあります。この活動の担い手として女性団員が期待されています。

県では、平成28年1～12月、女性消防団員入団キャンペーンを実施。期間中入団した人には、協賛企業からのプレゼントを贈ります。この機会にぜひご入団を。

【入団資格】18歳以上で市内に居住、または勤務している女性

【キャンペーン問い合わせ】

宮城県総務部消防課消防班

☎022(211)2373

【入団問い合わせ】消防本部

警防課(消防団係)

☎0220(22)1901

安全・安心に向けて消防団出初式を開催



市民の安全・安心を願うとともに、訓練や行進を通じ、力強い消防団の姿を披露します。皆さんのご来場をお待ちしています。なお、午前7時20分にサイレンを鳴らします。火災などと同様ではないよう、ご注意ください。

【日時】平成28年1月10日(日) 午前9時～11時

【会場】消防防災センター

【内容】観閲行進、式典、消防訓練、消防防災センターの開放など

※消防防災センター前の市道は、午前8時50分から9時30分まで通行止めになります。ご協力をお願いします。

※当日は、災害時の対応として各町域に消防団員が待機しています。

【問い合わせ】消防本部警防課(消防団係)

☎0220(22)1901

旭日双光章
大坂國通さん(中田町・71歳)



1989年から26年間、登米市医師会理事・副会長・会長などを務め、会員の指導・統率・運営に当たりました。また、登米地区地域医療対策委員会会長や市内小中学校校医として、地域医療の発展に尽力しました。

瑞宝小綬章

伊達 宗弘さん(登米町・70歳)



1968年に宮城県庁に入庁。政策調整官、理事兼仙台産業振興事務所長などを歴任し、02年に宮城県図書館長に就任。09年の退職後も顧問として図書館運営に携わり、歴史資料の調査や伝承、活用の推進に尽力しました。

瑞宝単光章

大塚 辰郎さん(中田町・75歳)



1961年に中田町消防団に入団。04年に中田町消防団分団長、06年には登米市中田町消防団副団長として、地域防災の確立に貢献しました。07年に退団するまでの46年間、住民の生命と財産保護に尽力しました。

瑞宝単光章

佐藤 辰夫さん(登米町・75歳)



1961年に東和町消防団に入団。98年に東和町消防団副分団長、07年には登米市消防団副団長として、地域防災の確立に貢献しました。08年に退団するまでの47年間、住民の生命と財産保護に尽力しました。

瑞宝単光章
後藤 正士さん(東和町・77歳)

2015 叙 勲
秋

不断の努力と永年の功績が認められ

地域の発展と文化の向上に貢献

平成27年度の市政功労者表彰、県文化の日表彰などを受賞された皆さんをご紹介します(敬称略・順不同)



◆市政功労者表彰

【表彰式】11月3日(火)

【場所】登米祝祭劇場

●地方自治功労

- ▼中澤宏(豊里) ▼伊藤吉浩(南方) ▼杉山毅(迫) ▼鈴木貞雄(南方) ▼千葉勝義(豊里) ▼浅野英孝(迫) ▼佐藤二郎(迫) ▼永浦勝男(南方) ▼橘喜久男(迫)

●産業功労

- ▼阿部芳代(東和) ▼守屋慶市(迫) ▼尾形頼徳(登米) ▼佐々木義尚(津山) ▼三浦直人(迫) ▼佐久田篤(登米) ▼佐々木一男(津山) ▼伊藤好之(津山) ▼石川幸弘(迫) ▼伊邊初夫(迫) ▼佐々木秀悦(南方)

●納税功労

- ▼佐藤仁(豊里) ▼須藤喜良(東和) ▼伊藤正幸(東和) ▼菊地吉子(津山) ▼工藤和男(東和) ▼中山美彦(米山) ▼箕浦壽治(東和) ▼城ノ内納税貯蓄組合(東和) ▼上町納税貯蓄組合(東和) ▼五日町納税貯蓄組合(東和)

●保健衛生功労

- ▼嶋忠和(登米) ▼星ユキコ(迫) ▼佐藤孝子(迫) ▼宇藤明美(迫)

●教育文化功労

- ▼石川聡子(仙台市) ▼安藤良彦(迫) ▼高橋利光(登米)

●櫻田素雪(大崎市) ▼芳賀則夫(迫)

●社会福祉功労

- ▼鈴木亮(石越) ▼佐々木耕史(迫) ▼登米市ボランティア協会(迫) ▼登米市老人クラブ連合会(南方) ▼宮城県登米市遺族会(迫) ▼登米市身体障害者福祉協会(米山) ▼登米市手をつなぐ育成会(石越) ▼サンフラワー・サポート・エイト(中田) ▼なみの会(豊里) ▼菜の花の会(豊里) ▼たんぼぼの会(豊里) ▼加々巻サロン(豊里)

●消防防災功労

- ▼鈴木幸男(中田) ▼小野山浩一(豊里) ▼伊藤博(迫) ▼佐藤康(米山) ▼佐々木正弘(米山) ▼及川勝一(南方) ▼阿部英昭(南方) ▼佐藤雄(南方) ▼千葉光男(米山) ▼高橋久三(豊里) ▼鈴木浩吉(米山) ▼佐藤清一(東和) ▼幕田久男(東和) ▼白石克浩(中田) ▼布澤孝弘(中田) ▼橘和彦(中田) ▼柴崎久幸(南方) ▼佐藤章治(迫) ▼伊藤功一(東和) ▼阿部道明(津山) ▼千葉清文(津山) ▼小野寺新市(中田) ▼小野寺照秋(迫) ▼小野寺政彦(中田) ▼佐々木昌典(豊里) ▼佐々木清信(津山) ▼日野佳智(南方) ▼早川嘉一(登米)

●防犯交通安全功労

◆県教育功績者表彰

【表彰式】11月13日(金)

【場所】宮城県庁

●学校教育功労

- ▼工藤輝雄(中田中学校長)

◆県文化の日表彰

【表彰式】11月6日(金)

【場所】仙台国際センター

●地方自治功労

- ▼東敬三(迫) ▼岩淵勇一(中田) ▼秋山耕(米山) ▼末永重信(登米) ▼千葉敏彦(米山)

●善行功労

- ▼鈴木弘之(迫) ▼佐々木幸二(東和) ▼高任健太郎(石越) ▼遠藤宗吾(石越)

●教育文化功労

- ▼小寺正克(豊里)

●民生安定功労

- ▼五十川英雄(石越) ▼八木しみ子(豊里) ▼吉田恵子(迫)

●消防防災功労

- ▼亀卦川健一(東和) ▼佐々木清(迫) ▼芳村忠市(米山)

●調査統計功労

- ▼赤松節朗(東和) ▼佐藤守(豊里)

水を大切に 気持ち忘れずに

「大切な水」

「一人ともちよつとこすわりなさい」

きよ年の夏、お母さんがこわい声でよくとお姉ちゃんに言いながら細長い紙を二まい出しました。「水道しりりよのお知らせ」と書いてある紙で、一か月にどれぐらい水道をつかって、そのりよう金はいくらかということが書かれていくそうです。そして、その金がかが前の月にくらべてかなり高くなっていること、水道のメーターをしらべに来た人に

「どこか水がもれていませんか？」
と言われてすくおどろいたそうです。その時ほくは、毎日のようにお風呂でお姉ちゃんやシャワーで水をかけたり、水を出したまま遊んだり、ゆ船ではしゃいでお

湯がへつたために何ども足し湯をしたことを思い出して、心の中で「やばい！」と思いをしました。

「きゆうに水道りよう金かふえたんだけど何か思い当たることはない？」

紙を二つならべたまま、こわい顔でいわれました。まだ水のたんいやお金のべん強はしていない時だったので、どれくらいつかってどれぐらい高くなつたのかはよくわからなかったけど、お母さんが怒っていること、むだづかいをしたために水道りよう金が高くなつたことはわかりました。

「あなたたちはお金をただがしてすてたのと同じこと。むだにながしてしまつた水があればどれだけの人がたすかつたんだらうね」

ほくはそのとき、お母さんがおこつたのは水道りよう金が高くなつたということだけ

ではないことに気づき、大切なことを思い出しました。

前にテレビでせかいではかんとんに水が手に入らない国があることを知りました。小さな子どもが遠くまで水くみに行くこと、よごれたいど水をのんでびよう気になってしまうこと。それに比べて日本はじゃ口からすぐきれいな水が出るのだからともしあわせであることをお母さんやお姉ちゃんと話したことがありません。また、しんさいで水が出なくてふ安な思いをしたことやのこつた水を一てきもむだにしないように大切に

かつたこともあつたのに、それらをわすれてむだづかいしてしまつたことをはんせいしました。

ほくはその時からなるべく水をむだにしないように気をつけています。日本とはちがつてかんたんに水を手にできない国はたくさんあります。日本には、ほくたちが安心しておいしい水をのめるようにはたらいてくれる人もいます。きれいで安いな水を飲むこと、そしてその水をつくってくれる人たちに感謝する気持ちをわすれずに水を大切にしたいと思えます。



及川 直君(加賀野小3年)
中田町・加賀野二

受賞作品を紹介します

第57回水道週間コンテスト(作文・低学年の部)で、及川直君(加賀野小3年)の作品が最高賞の特選となり、厚生労働大臣賞を受賞。また、平成27年度中学生の「税についての作文」で、高橋茉央さん(東和中3年)の作品が優秀作品として、仙台国税局長賞を受賞しました。二人の作品をご紹介します。(原文のまま)

「税金のありがたさ」

「税金とは何か？」という問いに、しっかりとした答えを出せるのに、あと何年かかるのだろうか。私はこれまで税について詳しく教わった事も考えた事もありませんでした。しかし、この作文を書くことになり自分なりに税について考え、勉強する機会を与えられたと思つていま

す。税金は所得などに応じて公正に課税され公平に負担すること、新しい道路をつくったり、学校や病院、消防署などの公共施設を建てたり、私達が安心



高橋 茉央さん(東和中3年)
東和町・米川5区

安全に生活するために必要な多くのサービスを支えています。しかし、税金を納める大人達は気持ち良く税金を納めているのだろうか。消費税が上がればため息をつく大人がいる。個人の収入に応じて納める所得税や住民税、土地や建物にも税金はかかる。所有の車があれば、自動車税やガソリン税もかかる。私の身近でもたくさん税金を耳にする。納める税金は耳にする機会も多く、大人達は不平不満も口にする。

では、その税金によって受ける恩恵はどうなのだろうか。当たり前のように歩く道路、当たり前のように通った幼稚園や

学校、私に多くの事を教えて下さった先生方。一人の人間が育ち、生きる事に多くの税金が使われている。

私はこの夏、平穩だった日常を奪われる出来事にあつたことで更に税金のありがたさに気付く事ができた。それは、いつも優しく私の心配ばかりする祖父の病気がきっかけでした。

祖父の病氣は血液の病氣で、あまりにも急な出来事だったため家族全員が焦りと戸惑い、心配と不安で何度も心が折れそうになりました。でも、祖父の辛い治療を励まし支えてくれていた主治医の先生や看護師、病院スタッフの皆さんの優しさに触れることで安心を得られ、月日をおうごとに焦りや戸惑いは消えていきました。見舞いのために通う病院でよく耳にするのは、鳴りやむことのない救急車のサイレン音。毎日、何台もの救急車がこの病院には来ます。そして何人もの人の命を救つて

います。東日本大震災の時もこの病院は多くの命を救い励まし、折れた心を癒して来たのだと改めて知り、病院だけでなく、命を救うために警察官、自衛隊、消防隊員、津波の危機を呼びかけた公務員、他にも多くの大人達の懸命な姿がここにはあつたのだと知りました。そして、私達が当然のように受けている社会の仕組みは、大人達が一生懸命働いたお金の中から納める税金が基盤になっていて、その恩恵を受けていない人は、いないのだと知りました。

「税金とは何か？」この問いに答えを出すのは、私が将来、自分で働き税金を納める時だと思ふ。それまで私はもっと税金の恩恵を自覚し、よりよい社会を作るために税金について学びたい。そして、多くの人達にも税金のありがたさについて知ってもらうために、もっと税金について伝えていきたいと思えます。

祖父の病で気付いた 税金のありがたさ

市職員の給与などの あらまし 平成26年度

市職員の給与などの状況は、市議会での予算や給与条例の審議などを通じて明らかにされています。今号は職員給与の実態などについて、広く市民皆さんに理解していただくため、そのあらましを紹介します。

【問い合わせ】総務部人事課 ☎0220(22)2145

職員数および職員の任免に関する状況

◆職員数 (各年4月1日現在)

単位：人

区分	職員数		対前年増減数
	H26	H27	
市長部局	628	616	△12
議会事務局	7	7	0
選挙管理委員会事務局	2	2	0
監査委員事務局	4	4	0
教育委員会	152	150	△2
農業委員会事務局	14	12	△2
消防	154	163	9
病院	473	458	△15
水道	28	28	0
合計	1,462	1,440	△22

◆役職別職員数 (平成27年4月1日現在)

単位：人

部長級	15	次長級	42	課長級	155	課長補佐級	276
係長級	508	一般職	369	労務職	75	合計	1,440

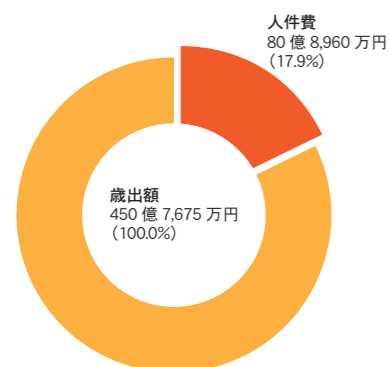
◆職員の退職・採用の状況 (平成26年度)

単位：人

区分	一般行政職	労務職	消防職	医療職	企業職	合計
退職者数	40	2	1	34	4	81
採用者数	32	0	11	29	0	72

職員の給与の状況

◆人件費の状況 (普通会計決算)



◆職員の平均給料月額、平均給与月額、平均年齢の状況 (平成27年4月1日現在)

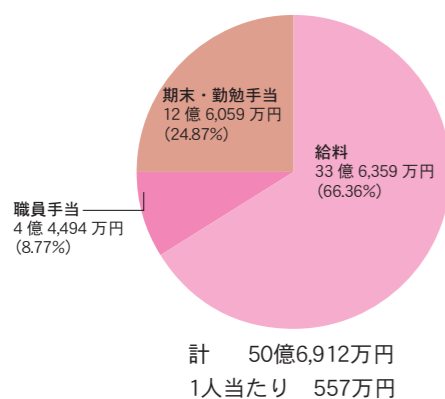
区分	一般行政職	労務職 (企業職員を除く)	消防職	企業職 (看護師・准看護師)	企業職 (水道事業)
平均給料月額	323,732円	305,669円	236,463円	312,259円	338,264円
平均給与月額	365,060円	326,629円	284,262円	365,273円	388,708円
平均年齢	44.8歳	51.2歳	33.4歳	45.0歳	47.9歳

※「給与月額」とは、給料月額に諸手当の額を足したものです

◆特別職等の報酬などの状況 (平成27年4月1日現在)

区分	給料月額等	区分	給料月額等
市長	911,000円	議長	491,000円
副市長	734,000円	副議長	425,000円
病院事業管理者 ※医師の場合	585,000円 ※851,000円	議員	398,000円
教育長	604,000円		
(平成26年度支給割合)		(平成26年度支給割合)	
市長	6月期 1.40月分	議長	6月期 1.40月分
副市長	12月期 1.55月分	副議長	12月期 1.55月分
病院事業管理者	合計 2.95月分	議員	合計 2.95月分
教育長			

◆職員給与費の状況 (普通会計決算)



◆職員手当の状況 (平成27年4月1日現在)

手当の種類	内容		
期末手当・勤勉手当	(平成26年度支給割合)		
	期末手当	勤勉手当	合計
	6月期 1.225月分	0.675月分	1.90月分
12月期 1.375月分	0.825月分	2.20月分	
	職務上の段階、職務の級等による加算措置有り		
退職手当	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	

手当の種類	内容
扶養手当	○配偶者13,000円 ○配偶者以外 ①一人につき6,500円。ただし、職員に配偶者がいない場合は扶養親族のうち一人につき11,000円 ②満15歳に達する日以後の最初の4月1日から、満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある扶養親族たる子については、一人につき5,000円を加算
通勤手当	○交通機関の利用者 ○自動車などの使用者 使用距離に応じて2,000円～31,600円を支給
住居手当	○家賃などに応じて27,000円を限度として支給
管理職手当	○管理または監督の地位にある職員について、その職務の特殊性に基づき支給最高額 66,400円
その他の手当	上記のほか、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当などがあります。

人事行政の運営等の状況

◆職員の勤務時間 (平成27年4月1日現在)

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00

◆年次有給休暇の取得 (平成26年1月1日～12月31日)

総付与日数 A	総取得日数 B	対象職員数 C	平均取得日数 B/C	取得率 B/A
55,747日	12,893日	1,477人	8.7日/年	23.1%

◆育児休業の取得

区分	男性	女性
平成26年度新たに育児休業を取得した者	0	23
平成25年度以前から引き続けている者	0	19

◆分限処分 (平成26年度)

区分	降任	免職	休職	合計
心身の故障の場合	0	0	22	22

◆懲戒処分 (平成26年度)

区分	免職	停職	減給	戒告	合計	訓告等
職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合	0	0	0	0	0	13
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行があった場合	0	0	0	0	0	43

◆職員の勤務成績の評定

平成26年度については、勤勉手当の成績率決定に係る勤務成績の評価を実施しました。

◆倫理の保持

職員は全体の奉仕者であり、その職務は住民から負託された公務であることから、職員に対して注意喚起し、その徹底を図っています。

平成26年度は、文書通知を次のとおり行いました。

区分	通知回数
選挙に関する服務規律の確保	1回
倫理の保持	7回

◆職員の研修 (平成26年度)

区分	内容	受講者数	備考
職場研修	5講座開催	430	新規採用職員研修、コーチング研修ほか
職場外研修	宮城県市町村職員研修所	176	階層別研修、専門研修
派遣研修	宮城県派遣など	11	宮城県派遣、東北六県研修ほか

◆健康管理に関する状況 (平成26年度)

区分	対象者	受診者数
定期健康診断	全職員(人間ドック受診者除く)	967
人間ドック	35歳以上の希望者	353
胃がん検診	35歳以上の希望者	73
子宮がん検診	20歳以上の希望者	170
乳がん検診	30歳以上の希望者	181
大腸がん検診	40歳以上の希望者	59
かくたん検査	希望者	26
前立腺がん検査	希望者	136

30秒で伝える魅力

ふるさとCM大賞に出品

県内市町村制作のCM作品を紹介する「2015みやぎふるさとCM大賞」の発表審査会は11月26日、仙台市泉区のイズミティ21で開かれました。

CM大賞は、東日本放送が平成14年から毎年開催しているものです。今年は29市区町村から29作品の応募がありました。

本市からは、市観光物産協会が「水の絆」と題した作品を出品。水でつながる登米市を表現しました。審査の結果、惜しくも入賞は逃しましたが、構成などで高い評価をいただきました。発表審査会の模様は、1月3日午後3時55分から東日本放送で放映されます。



本市作品の「水の絆」は、登米市の豊富な水資源が生み出す魅力は美しく、唯一無二だということを伝えています。

健康寿命延伸に向け

大塚製薬と健康協定結ぶ

本市と大塚製薬の健康増進に関する連携協定締結式は11月19日、市役所で開かれ、布施孝尚市長と大塚製薬仙台支店の河野敦夫支店長が協定書を取り交わしました。大塚製薬は、本年度から本市と協働で健康寿命延伸に向けた講座などを実施しています。

同社が、県内の自治体と健康増進に関する連携協定を結ぶのは初のことです。布施市長は「本市の健康寿命は県内で下の方。市民の生活資質向上に向け、共に取り組んでいきたい」とあいさつ。河野支店長は「健康情報や事業などを提案し、登米市民の健康の一助となるよう取り組んでいきたい」と述べました。



食育セミナーなど食を通じた健康づくり、小売業者と連携しての健康状態の認知活動などを、協働で展開していく予定です。

登米市の未来に向け

子ども議会2015開催する

市内中学校の生徒が「議員」となって市長らと議論する「子ども議会」。「子ども議会2015」(とめ青年会議所主催)は11月8日、市役所議場で開かれました。

市内10校から選ばれた20人の子ども議員が登壇。自分たちが住む登米市のまちづくりについて、中学生の視点で質問し、布施孝尚市長、佐藤信男教育長らが、市の考えを述べました。議長を務めた川田真心さん(佐沼中2年)は「テレビで見る国会中継のようで、すごく緊張しました。議会を体験して、市民の一員であることを再認識しました。登米市がよいまちになるよう、私たちも頑張ります」と今後の抱負を述べました。



中学生に身近な街路灯の整備要望や全国的な課題である人口減少を止めるための施策についてなど、真剣に議論しました。

参加者 3000 人超え

30 回目のカップマラソン

「第30回カップハーフマラソン」は11月22日、登米総合体育館を発着点とするコースで開催され、過去最高の3050人が秋の登米路を駆け抜けました。レースはハーフ、10^キ、5^キなど30部門で競われ、午前9時半ハーフの部を皮切りに順次スタート。懸命に走るランナーたちに沿道から温かい声援が送られました。30部門のうち4部門で本市のランナーが優勝しました。

【男子】▶ハーフ 高校生～29歳 = 大坂雄一郎(中田町)
【女子】▶10^キ 高校生～39歳 = 井波由希(追町) ▶2^キ 女子小学生 = 川嶋心結(中田町) 【親子】▶2^キ ペア = 小諸信道・俊介(中田町)



カップのコスチューム姿など、仮装するランナーもあり、沿道の人たちを楽しませました。

本番さながらの想定

上沼地区で洪水避難訓練

水害を想定した洪水避難訓練は11月15日、上沼ふれあいセンター・弥勒寺を本部に上沼地区で開催されました。関東・東北豪雨による県内各地区の堤防決壊などから、水害発生時の防災情報の伝達と安全な行動を学ぶこと、課題の明確化を目的に、上沼地区コミュニティ運営協議会が初めて実施しました。

住民約530人が、高台への避難や情報伝達などを訓練。佐藤弘志さん(中田町寺山)は「洪水想定訓練は初めて。連絡網の確立や若い人たちの参加が少なかったため、この点の改善が必要ですね」と今後に向けての課題を話していました。



洪水を想定し、コミュニティ単位での訓練実施は、市内で初の取り組み。当日は雨が降り、本番さながらの訓練となりました。

51年の功績認められ

秋山さん産業文化賞受賞

第61回竹駒産業文化賞授賞式は11月23日、岩沼市の竹駒神社で開かれ、豊里町二ツ屋の秋山廣さん(写真中央)が、竹駒産業文化賞(農業の部)を受賞しました。

秋山さんは、1965年から現在までの51年間、水稲奨励品種決定現地試験担当農家として活躍。県の奨励品種である「ひとめぼれ」「ササニシキBL」「ヒメノモチ」などは秋山さんのほ場の試験結果を踏まえて採用されています。

11月24日、市役所を訪れ布施孝尚市長に受賞を報告。「このような賞を受賞できたことはとても光栄」と受賞の喜びを語りました。



51年間継続しての活動は県内最長記録。秋山さんは、これからも新しい情報・技術に取り組んでいきます。

Information 01

登米市奨学金貸付予約奨学生を募集

市では、平成28年4月以降に進学・進級する希望者に、奨学金を貸し付けます。

の成績が学年評定3.5以上、または成績順位が上位50%以内の人▼家計に経済的理由により修学が困難な人

市育英資金・浅野兄妹奨学金貸付について

【校種】国内の高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程および専門課程に限る)、短期大学、大学(大学院を除く)

区分	貸付月額	
	自宅通学	自宅通学以外
高等学校	1万円以内	3万円以内
高等専門学校	4万円以内	5万円以内
専修学校	4万円以内	5万円以内
短期大学	4万円以内	5万円以内
大学	4万円以内	5万円以内

上杉奨学金貸付について

【校種】大学
【貸付年額】50万円以内
【貸付期間】▼医学部、獣医学部など▼6年以内▼それ以外▼4年以内
【応募資格】市内に在住し、学資の支弁が著しく困難な人

奨学金共通事項について

【募集人数】予算の範囲内
【募集期間】平成28年1月4日(月)～2月22日(月)
※受け付けは、平日の午前8時30分～午後5時15分
【奨学金の貸与】
▼市育英資金および浅野兄妹奨学金、上杉奨学金の重複応募はできません▼日本学生支援機構など、他の機関が運営する奨学金を借りてい

る、または借りることが決定している(見込みを含む)場合は貸与できません

【採用方法】奨学生選考委員会にて審査し、教育委員会決定(平成28年3月開催予定)。

【応募書類】①奨学生願書(様式第1号)②学校長推薦書(様式第2号)③健康診断書(任意様式)。学校発行のもので可)④住民票謄本(世帯全員のもの)⑤平成27年度納税証明書(世帯全員分および連帯保証人分)⑥平成26年中の世帯全員の収入が分かる書類※所得控除の記載がある所得証明書(確定申告書または住民税申告書の写し、事業収入などがある場合は収支内訳書の写し、給与収入のみの場合は源泉徴収票の写しでも可)

※①と②は市ホームページからダウンロードできます。
【申し込み】教育委員会教育部教育総務課(総務係)または教育委員会各教育事務所
【問い合わせ】教育委員会教育部教育総務課(総務係)
☎0220(34)2670

Information 02

市立幼稚園の預かり保育を拡充します

平成28年度から左記の幼稚園で「保育所型預かり保育」を行います。保育所と同程度の期間・時間で受け入れます。

幼稚園名・連絡先	
佐沼幼稚園	☎ 0220(22)2527
新田幼稚園	☎ 0220(28)2222
中田幼稚園	☎ 0220(34)3502
南方幼稚園	☎ 0220(58)2218

【実施幼稚園】

【対象年齢】4～5歳児
【拡充内容】▼預かり時間は、午前7時30分から午後6時30分までです▼土曜日および夏休みなどの長期休業時にも実施します
【利用基準】保護者の就労などにより、お子さんの保育が必要ときに利用できます
※保育所入所と同等の基準で選考し、利用の可否を後日通知します
【料金】保育所の保育料と同等の負担額になります(授業料、給食費、保育所型預かり保育料)
【申込期間】平成28年1月5日(火)～1月20日(水)

日(火)～1月20日(水)

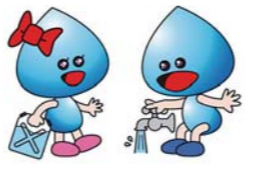
【申込場所】希望する幼稚園にお申し込みください

【申し込みに必要な書類】実施幼稚園で配布します

①保育所型預かり保育申込書
②家族状況票③お子さんの健康発育状況④就労証明書など※右記①～④の書類と併せて入園申し込み(支給認定申請書兼施設利用申込書)をしてください

※既に保育所や別の幼稚園に入所(園)申し込みをしていても、保育所型預かり保育を実施する幼稚園に申し込み直せます

【その他】▼土曜日および夏休みなどの長期休業時は、給食がありませんので、弁当持参となります▼保育所型預かり保育を行う幼稚園でも、通常預かり保育を並行して実施します▼通常預かり保育の料金は従来と同じです(短期利用日額200円、通年利用月額3500円)
【問い合わせ】教育委員会教育部学校教育課(教育振興係)
☎0220(34)2679



水道管の防寒対策はお済みですか

Information 03

●防寒対策

▶凍結防止用ヒーターのコンセントを確実に差し込みましょう
▶長期間留守にする場合は、水抜栓を使い水道管の水を抜きましょう
▶メーターボックス内は、メーター保温材や発泡スチロールで、凍結を防止しましょう
※メーター保温材は、水道事業所・各総合支所窓口で無料配布しています。



●凍結応急手当

▶凍ったところにタオルなどをかぶせて、ぬるま湯をかけてください(熱湯は蛇口などを破裂させる恐れがあるので、避けてください)
▶蛇口が破裂したときは、水抜栓を閉めて、お近くの給水工事指定店に修理を依頼してください。水抜栓の場所が分からないときは、破損箇所タオルを巻きつけて、給水工事指定店に修理を依頼してください(修理費用は、全て自己負担となります)
【問い合わせ】
▶水道事業所水道管理課(業務係) ☎0220(52)3311
▶水道お客様センター ☎0120(023)151



Information 04

年末年始休業のお知らせ

市役所一般業務

12月29日(火)～1月3日(日)
◎諸証明の発行はできません
◎転入・転出など異動の届け出はできません
◎出生・死亡届などの届け出は、日直が受け付けます
【問い合わせ】各総合支所市民課

市立病院・診療所

12月29日(火)～1月3日(日)
◎1月3日(日)の市民病院の小児科日曜診療は休診します
【問い合わせ】各市立病院・診療所

登米市斎場(火葬場)

1月1日(祝)、2日(土)
【問い合わせ】登米市斎場
☎0220(22)4040

ごみ収集業務

12月31日(木)～1月3日(日)
◎期間中は、ごみ集積所へごみを出さないでください
【問い合わせ】環境事業所クリーンセンター
☎0225(76)0102

し尿収集業務

12月31日(木)～1月3日(日)
【問い合わせ】環境事業所衛生センター
☎0220(58)2254

市民バス

1月1日(祝)
◎1月2日(土)、3日(日)は休日ダイヤで運行します
【問い合わせ】企画部市民活動支援課
☎0220(22)2173

住民バス
患者輸送バス

12月29日(火)～1月3日(日)
【問い合わせ】各総合支所

市民課
▼市立豊里病院
☎0225(76)2023

市民プール

12月29日(火)～1月4日(月)
【問い合わせ】市民プール
☎0220(22)5492

迫図書館、登米図書館
中田図書館

12月28日(月)～1月4日(月)
【問い合わせ】▼迫図書館
☎0220(22)9820
▼登米図書館
☎0220(52)5330
▼中田図書館
☎0220(34)8081

歴史博物館

12月15日(火)～1月4日(月)
◎12月15日(火)からくん蒸作業のため臨時休館とします
【問い合わせ】歴史博物館
☎0220(21)5411

Information 05

登米ファミリー・サポート・センター事業 協力会員を募集しています

登米ファミリー・サポート・センター事業は、地域で育児を手助けできる人(協力会員)が、支援を必要とする人(利用会員)に援助する活動です。
●協力会員になるためには?
市内に居住している心身ともに健康な20歳以上で、自宅で安全にお子さんを預かることができる人。市が主催する講習会を受講した人。

応急処置について

【日時】平成28年2月9日(火) 午前10時30分〜午後3時15分
【場所】南方庁舎(2階 住民情報センター内シアターホール)
【申し込み方法】電話でお申し込みください
【申込期限】平成28年2月3日(水)
【申し込み・問い合わせ】登米ファミリー・サポート・センター事務局(南方子育てサポートセンター内)
☎0220(58)5558

Information 07

平成28年成人式を 開催します

【日時】平成28年1月10日(日) 午後1時開式(受け付け11時前11時30分〜午後0時30分)
【会場】登米総合体育館(とよま蔵ジヤム)
【対象】平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人で①平成23年3月に市内の中学校を卒業した人②平成27年9月1日現在、市内に在住、住所を有する人③前述の①②以外で市成人式出席を希望する人
※対象となる新成人の皆さんには案内状を送付します。式当日は案内状を必ず持参してください(12月中旬までに案内状が届かない場合はお問い合わせください)。

Information 06

男女共同参画フォーラム 人権を考える講演会

【日時】平成28年1月31日(日) 午後2時(開場11時〜午後1時)
【講師】医学教授 山力 氏
精神科 香立 氏
の美容液」でパーソナリティを務める。
【演題】『よい子』の心に何が起きているか〜ネット社会における子育て〜
【会場】登米祝祭劇場(大ホール)
【入場料】無料(全席自由)
※整理券が必要です
【整理券配布場所】各総合支所窓口、市民生活部市民生活課、企画部市民活動支援課、登米市PTA連絡協議会
【託児(無料)】おむね1〜6歳の未就学児が対象です。定員は5人程度。ご希望の方は、平成28年1月15日(金)までにお申し込みください。
【問い合わせ】企画部市民活動支援課
☎0220(22)2173



医学教授 山力 氏
精神科 香立 氏

Information 08

除雪作業にご協力ください

市では新たに降った雪が、おおむね10センチ以上の場合、町域ごとに除雪作業をします。
作業は幹線道路を優先します。町域全体が完了するまでには時間を要しますので、ご理解ください。なお、除雪作業による自宅付近の雪だまりは、住民の皆さんで除雪いただくようご協力をお願いいたします。降雪や路面凍結によって
【市道に関する問い合わせ】
▼各総合支所市民課
▼建設部土木管理課
【国道・県道に関する問い合わせ】
▼東部土木事務所登米地域事務所(道路管理班)
☎0220(22)2716

Information 09

第57回水道週間作品コンテスト 入選者をご紹介します



布施市長(中央)、清野嘉男審査員(右)と受賞者の皆さん

水道事業所では、水道に関する作品を募集する「第57回水道週間コンテスト」を開催。図画、習字、標語、作文の部で作品を募集したところ市内の小中学生と一般から865点の応募がありました。
市コンテストの特選・入選作品は全国コンクールに応募。その結果、作文小学生低学年の部で及川直君が厚生労働大臣賞を受賞しました。市コンテストの入選作品は水道事業所ホームページに掲載しています。

- 入選者は次のとおりです。
●図画小学生低学年の部
【特選】菅原咲綾(上沼小)
【入選】皆川咲空(上沼小)、千葉明日香(上沼小)
●図画小学生高学年の部
【特選】加藤美桜(米岡小)
【入選】浅野由宇(石越小)、本田次元(石越小)、岡田優衣(石越小)
●図画中学生の部
【特選】大宮京(豊里小・中)
【入選】佐々木優香(米山中)
●習字小学生低学年の部
【特選】澁谷一志(東郷小)
【入選】舟嶋妃那(米谷小)、舟嶋嶺(米谷小)、鈴木里鳳夏(佐沼小)
●習字小学生高学年の部
【特選】千葉真悠子(東郷小)
【入選】野家羽夏(加賀野小)、

図画・習字・標語の特選受賞作品

- (受賞者名)
①図画小学生低学年の部 菅原咲綾さん
②図画小学生高学年の部 加藤美桜さん
③図画中学生の部 大宮京さん
④習字小学生低学年の部 澁谷一志君
⑤習字小学生高学年の部 千葉真悠子さん
⑥標語の部 西城愛菜さん



水道水 年中無休 おつかれさま

TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

豊里



軽トラ市と収穫感謝祭を開催 10月30日

豊里コミュニティ推進協議会（阿部洋一^{よういち}会長）では、JAみやぎ登米豊里支店駐車場を会場に「軽トラ市」を開催しました。「第2回JA豊里支店収穫感謝祭」と併せて開催したこの催しは、豊里地域づくり計画の一環として実施。来場者には二ツ屋地区に伝わる郷土料理「けの汁」を振る舞い、地場産品をPRしました。ポップコーンや綿あめ、風船コーナーには、子どもたちを中心に長い行列ができるなど、大いににぎわいました。

友好のランナー、無事に完走 11月15日

富山県入善町で「第23回扇状地マラソンINにゅうぜん大会」が開催。本市からも姉妹都市交流事業として、入善町と交流を重ねている米山・南方の小・中学生16人が使節団として派遣され大会に出場しました。大会当日はあいにくの雨でしたが、全てのランナーが『友好』を胸に完走しました。使節団は、過去に4年連続清流日本一に輝いた黒部川や国内では珍しい平地の湧水地帯に生育する唯一のスギ林などを見学。地元小学生との交流も深めました。



米山

迫



花いっぱい美しいまちづくり 11月19日

すばらしいはさまを創る協議会（尾形重雄^{しげお}会長）で花いっぱいコンクール表彰式と研修会を開催しました。31回目となる今年は行政区、自治会や学校など30の団体がコンクールに応募。8月の現地審査と10月の最終審査の結果入賞した17団体が表彰されました。表彰式後に開催された研修会では、入賞団体の事例発表もあり、受賞者は「今年を受賞が励みになる。来年も頑張ろうと思う」と話していました。

石越



懐かしい味、愛するふるさと 11月8日

「第22回東京いしこし会総会・交流会」が上野東天紅上野店で開催。関係者など81人が参加しました。交流会では歌や踊りを披露。参加した皆さんは、ふるさとの地酒や漬物などを味わいながら交流を深め、1年ぶりの再会を喜びました。最後は「石越音頭^{いしこし}」に合わせ、会場に大きな輪ができました。事務局の三浦貞二^{ていじ}さんは「多くの皆さんに参加いただき感謝しています。今後も若い層の会員を増やしていく活動を継続していきたい」と話していました。

登米の美味しいものが大集合 11月22日

「とよま産業まつり」を登米総合体育館前駐車場を会場に開催しました。会場では、登米市産の牛肉や豚肉、新鮮な野菜が販売されたほか、仙台黒毛和牛とよま産牛ステーキの試食コーナーには多くの人が集まり、とよまの美味しい味を堪能していました。当日は、カップハーフマラソンと地場産品まつりも同時開催となり、さわやかな秋空の下、大勢の来場者でにぎわいました。



登米

中学3年生が命について学ぶ 11月18日

南方中学校卒業講座「赤ちゃん抱っこ・妊婦体験」が南方農村環境改善センターで開催。南方中3年生が参加し、性と生について講義を受け、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、妊婦スーツを着用して日常生活での動作を実体験したりしました。赤ちゃん抱っこでは、ぎこちなく抱っこしていた生徒たちも徐々に慣れ、後半は赤ちゃんが心地よさあまり寝てしまうほどに。この体験を通して、命の大切さを実感しました。



南方

東和



6年間交通死亡事故ゼロ達成 11月30日

東和町の錦織地区が11月26日で交通死亡事故ゼロ3000日を達成。市と登米警察署から錦織地域振興会の及川登志郎^{としかう}会長へ褒状が送られました。贈呈式には、同町交通安全母の会会長、交通安全協会錦織支部長らが出席。及川会長は「記録ゼロ達成は関係機関および地域皆さまのご協力のおかげです。一日でも長くこの記録を伸ばしたい」と決意を述べました。同地区では、平成19年9月10日から交通死亡事故が発生していません。

津山



園児が防火を呼び掛けて行進 11月9日

秋の火災予防運動防火パレードを柳津市街地で実施しました。柳津小学校校庭で行われた出発式では、つやま幼稚園幼年防火クラブの園児たちが、元気よく誓いの言葉を述べました。その後、つやま幼稚園保護者会や婦人防火クラブ員らと一緒に、柳津小学校からつやま幼稚園までの区間を行進。沿道に集まった人たちに防火啓発チラシを配りながら、拍子木を打ち鳴らして防火を呼び掛けました。

みんなで挑戦！巨大カップ巻 11月1日

市役所中田庁舎を主会場に「第29回なかだの秋まつり」を開催しました。祭りでは農業祭・文化祭のほか、民謡や民俗芸能、ヒーローショー、よさこい、お楽しみ抽選会などが催されました。また、中田の特産品のキュウリを使って作る大人気コーナー「みんなでカップ巻!!」には、親子連れなど230人が参加。見事118巻の巨大カップ巻を完成させました。さわやかな秋空が広がる秋まつり会場は、市内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。



中田

11月26日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



千葉 莉緒ちゃん (追町新田駅前) 多田 来毅くん (追町下舟丁) 鈴木 ゆうかちゃん (追町江合) 菅原 七海ちゃん (追町上沢) 菅原 竣太くん (追町三方島) 佐々木 珀駆くん (追町大網東) 大場 粟桜ちゃん (追町新町) 赤間 通ちゃん (追町秋洗)



阿部 涼祐くん (東和町米谷7区) 百足 華ちゃん (登米町中町) 鈴木 蓮斗くん (登米町辺山) 佐々木 美緒ちゃん (登米町遠見台) 佐々木 茉結ちゃん (登米町入谷) 亀井 星愛ちゃん (登米町浜江) 星 春翔くん (追町光ヶ丘東) 千葉 颯太くん (追町天形)



瀬ヶ沼 琉斗くん (中田町茶畑) 佐藤 仁くん (中田町加賀野二) 加美山 煌くん (中田町) 岩淵 愛莉ちゃん (中田町上沼新田) 伊藤 明枝ちゃん (中田町加賀野一) 伊藤 羽衣ちゃん (中田町加賀野一) 湖 孝龍くん (東和町米谷3区) 小野寺 凜人くん (東和町錦織4区)



常永 珠希ちゃん (米山町大又) 千葉 木乃実ちゃん (米山町千貫) 佐々木 大和くん (米山町三日町) 佐々木 煌太くん (米山町野手谷地) 久保 凜桜ちゃん (米山町釣場) 遠藤 芽衣ちゃん (米山町平坪) 千葉 美紗希ちゃん (中田町加賀野一) 高橋 郁斗くん (中田町加賀野一)



佐々木 大毅くん (南方町釜) 佐々木 真央ちゃん (南方町原) 小野寺 悠真くん (南方町柳沢) 阿部 晴希くん (南方町釜) 千葉 沙羅ちゃん (石越町第三) 猪又 生くん (石越町駅前) 安住 孝仁くん (石越町芦倉) 芳野 武琉くん (米山町新町)



千葉 里桜ちゃん (南方町一ノ曲) 千葉 孔聖くん (南方町南大畑) 菅原 空也くん (南方町柳沢)

むし歯がなかった子は、市内7地区で52人中44人でした



星 心桜音ちゃん (南方町板倉)

幼児歯科健診を受けましょう

市では、生涯を通して健康な歯と口を育てるため、その土台となる幼児期に歯科健診とむし歯予防のためのフッ化物塗布を実施しています。受診料は無料です。健やかな成長のためにも忘れず受けましょう。

【対象者】 2歳～2歳3カ月児、2歳6カ月児、3歳児
※対象者には受診券を配布します。2歳6か月児と3歳児の歯科健診は個別になりますので、ご希望の市内協力歯科医院(病院)に直接お申し込みください。

【内容】 歯科健診、フッ化物塗布など
【場所】 詳細は市のホームページをご覧ください

<http://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/kenko/youjisikakensin.html>

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 ☎ 0220(58)2116



一般向け

PICKUP_04 一〇〇歳が聞く一〇〇歳の話



日野原 重明/聞き手
90歳、100歳を超えて活躍する美術家たちの人生哲学から健康法など、5つの対話を収録。

PICKUP_05 医師に聞けないあんな疑問 医師が解きたいこんな誤解



澤田 めぐみ/著
お茶で薬を飲んでもいいの? 患者の疑問や誤解を分かりやすく解説します。

PICKUP_06 ナプキン・ノート



ガス・キャラハン/著
「5年後の生存率は8%」余命宣告を受けた父親の、幼い娘への決意。父と娘の優しい物語です。

Library Topics

みんなの図書館

～利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします～

おはなし会を開催

(12月5日:追図書館)



参加者の声

「楽しかった!」と話してくれた七海ちゃんと美空ちゃん。おはなし会には何回も来ています。「ねずみのさかなつりがおもしろかった」と七海ちゃん。二人は「また来たい」と話していました。



(左) 佐藤 七海ちゃん (7) (右) 佐藤 美空ちゃん (3) 米山町

子ども向け

PICKUP_01 世界一ときめく質問 宇宙一やさしい答え



ジェンマ・エルウィン・ハリス /編
どうして右と左があるの? 子どもたちが投げかけた疑問に、世界の第一人者たちが答えます。

PICKUP_02 はじめての手づくり かんたんかわいいソーイング



春日 一枝/作品制作・構成
おしゃれなアクセサリやかわいいフェルトマスコットなどの作り方を、丁寧に紹介します。

PICKUP_03 どうぶつ連想それ、だーれ?



サトシン/作、ドーリー/絵
すばしこいと思ったらだーれ? 読み聞かせにぴったりの連想遊び絵本です。

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home

■開館時間 午前9時～午後5時
■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開館)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
■問い合わせ 追図書館 ☎ 22-9820
登米図書館 ☎ 52-5330
中田図書室 ☎ 34-8081



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

日野 天晴君

ひの・てんせい 柳津小4年
津山町・本町四丁目

将来は 水族館で働きたい

ぼくの将来の夢は、水族館の飼育員になることです。小さいころ、水族館で見たオットセイやペンギンが好きになったからです。水族館で、エサをやったり、水そうのそうじをしたりしながら、子どものペンギンが親の足の間で育つ様子を近くで見たいです。

それから、オットセイの好きな魚はイワシのほか、何があるのか気になります。ペンギンやオットセイをじっくり観察して、今まで知らなかったような特ちょうを発見してみたいです。

そのために、今は国語の勉強をがんばり難しい漢字も読めるようにして、飼育のことをたくさん調べられるようになりたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



はくあ
後藤 珀愛くん (0)
平成27年7月28日生まれ
迫町・下舟丁
春紀さんの長男

最近ではニコニコ笑って「うーうあーあ」お話しするようになった珀愛くん！これからも珀愛のペースでたっくん大きくなってね。

歌と踊り、好きなお人形にチュウするのが大好きな紗良ちゃん！
紗良、生まれてきてくれてありがとう。大好きよ！



さら
安藤 紗良ちゃん (1)
平成26年10月29日生まれ
米山町・六軒屋敷
真紀さんの長女

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

及川 清香さん(29)

おいかわ・きよか
迫町・立戸

- ★身長と血液型 154センチでA型です。
- ★現在は うまい登米っこ樂やで店長をしています。ホールで接客をしていることが多いです。今日のおすすめメニューを書くのも私の仕事です(笑)。ここに勤め始めてから10年たちました。お客さんやスタッフに恵まれ、毎日楽しく仕事をしています。
- ★自分の性格 明るくてにぎやかです。あ、それと気分屋かもしれません(笑)。
- ★趣味は おいしいものを食べに行くことです。今年は京都と韓国に行きました。京都では有名な料理人の店で京料理を、韓国ではカンジャケジャンや焼肉を食べてきました。すんごくおいしかったです。

それと、田んぼのあぜ道で写メを撮ることです。仕事柄、家に帰るのは夜中から朝方。田んぼに水が入ると、景色がすごくきれいです。そこを一枚ぱしゃりと。それと風景を独り占めしてる気分はなんともいえません。

★休日は まず家にいません(笑)。おいしいものを食べに行ったり、友達と遊んだりしています。

★理想の男性像 特に、こういう人というのはありません。あえて言うなら、気を遣わず私が私のままいられる人ですね。

★今やってみたいこと やりたいことはたくさんあります。一番は、世の中のいろんなものに会いたいです。人だったり、ものだったり、ほかの地域だったり。たくさん吸収して、私の尊敬する人のように器が大きく、説得力のある人間になりたいです。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
<応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)
⑧写真データを添付し応募してください<応募先>総務部市長公室広報聴係 ☎987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1
Eメール: koho@city.tome.miyagi.jp



佐々木 和雄さん (76)

ヨスコさん (74)

津山町・西下在
昭和 37 年 12 月入籍

共通の趣味を持つことが田満のコツ

★結婚当時の思い出は

【和雄】見合いで結婚しました。結婚した頃に、農業を馬耕から小型耕運機に変えたので、他の家の分も手広くやりました。また、津山町議員を5期務め、平成24年にはこれまでを振り返る「自分史」を自主出版しました。

【ヨスコ】桃生町から嫁いで来ました。私は中学の1学年下で、おじいさんは生徒会長だったので知っていました。

★印象深い出来事は
【二人】山の上から現住所に家を移転したことです。生活が変わりましたね。以前は除雪など自分たちでしなければいけなかったのが大変でした。
★現在の楽しみは

【和雄】旅行です。昨年は3回海外旅行に行きました。あとは野菜づくり。自然薯などを道の駅に出荷しています。

【ヨスコ】体が弱くなったので、旅行は国内旅行が多いですね。歌や踊りが好きでよく見に行きます。

★夫婦円満のコツは

【ヨスコ】よく話をする事です。ね。あとは一緒にしている野菜づくりです。

【和雄】亭主関白の自分によくついてきてくれました。

★やりたいこと
【和雄】野菜づくりと旅行は続けたいです。今度はニュージラランドに行きたいですね。【ヨスコ】今のまま過ごしたいね。孫の成長が楽しみです。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

ふるすとは心の支え

市制施行10周年記念式典。和太鼓の響きに登米市の息吹が感じられました。ふるさとの活力みなぎる組織づくりを心強く感じ、ふるさと会も頑張らなければと思いました。

「在京津山会」は、折しも現天皇陛下ご成婚の年である昭和34年に、柳津会と横山会が良縁にて合併し、現在まで56年間続いていきます。会員数は4百数十人で、関東地域在住の津山町出身者が親睦交流を通じて、ふるさと津山町との絆の維持醸成を目的として活動しています。本年は、カンガルーの会主催チャリティ音楽会、宮城ふるさと協議会主催被災地ふるさと訪問への参加など活動しました。

阿部 藤夫さん (67)

登米市在京町人会連絡協議会役員、在京津山会会長
津山町(西下在)出身



トが美しく彩ります。期間は来年の1月3日までです。

また、1月2、3日の二日間「もくもくランド初売り」を催します。新春恒例の餅つき大会(2日のみ)を始め、無病息災を祈る「獅子舞」や、お楽しみ大抽選会などを実施。もくもくハウスでは杉の矢羽材で作った来年の干支、サルの置物を販売します。

Q 今の季節、お薦めの農産物などを教えてください
ダイコンやハクサイなどの冬野菜ですね。旬の野菜を使った手作りの漬け物、豆餅や草餅なども人気です。また、12月上旬からご当地



グルメ「仙台麩」を使用した「仙台麩黒蜜ソフト」を販売しています。サクサクな麩がアクセントとなりとてもおいしいですよ。価格は350円ですが、食べた感想をその場でフェイスブックなどにアップすると今なら100円になります(平成28年1月末まで)。ぜひ一度ご賞味ください。



【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」
☎0225(69)2341

もくもくランド冬のライトアップ

平成 28 年 1 月 3 日 (日) まで (午後 4 時 ~ 午前 0 時)

今月は、道の駅津山「もくもくランド」の佐藤賀津雄隊長にお話を伺いました。
Q 道の駅津山でこれから開催するイベントなどを教えてください
12月6日から恒例の「もくもくランド冬のライトアップ」を実施しています。施設や樹木に約6千個の電球を使ったイルミネーションライ



トが美しく彩ります。期間は来年の1月3日までです。

【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」
☎0225(69)2341

おらほの道の駅

道の駅津山「もくもくランド」



もくもくランド冬のライトアップ

平成 28 年 1 月 3 日 (日) まで (午後 4 時 ~ 午前 0 時)

今月は、道の駅津山「もくもくランド」の佐藤賀津雄隊長にお話を伺いました。
Q 道の駅津山でこれから開催するイベントなどを教えてください
12月6日から恒例の「もくもくランド冬のライトアップ」を実施しています。施設や樹木に約6千個の電球を使ったイルミネーションライ



トが美しく彩ります。期間は来年の1月3日までです。

【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」
☎0225(69)2341

まちの文芸

俳句・川柳

●2月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、12月31日(木)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳

寒空につるつる頭湯気を出す

猿の年やさしいかにさん何人にも

来る年も家族安総手を合わせ

お茶飲みで元気を糧に明日を生く

俳句

来るものをみな受け入れて花八手

四百年生きし樵の実落つる寺

菅原たゑ子 (迫)

吉田まさよ (迫)

佐々木康子 (米山)

高橋とく子 (豊里)

小野寺智子 (迫)

鈴木千佳 (東和)

風や被災庁舎の鉄骨頭

秋しじま夕日溶け落つ日本海

小春日やまどろむネコの身の長し

秋天へ岩木山まるごと吸われけり

カリヨンの鐘の音爽か新校舎

晩秋や沈む夕日の紅あかと

金木厚香れど庭に友はなく

小野寺好道 (東和)

菊地典子 (中田)

小野寺夕へ子 (中田)

黒田律子 (中田)

佐藤昭 (中田)

今野ひろ子 (豊里)

佐藤恒子 (津山)

佐藤みゑ子 (津山)

応募総数 32 作品

健康

1月の献血日程

- ① 2日(土)
 - ▶イオンタウン佐沼 10:00～11:45 13:00～16:30
- ② 10日(日)
 - ▶みやぎ生活協同組合加賀野店 10:00～11:45 13:00～16:30
- ③ 17日(日)
 - ▶イオンタウン佐沼 10:00～11:45 13:00～16:30
- ④ 21日(木)
 - ▶宮城県佐沼警察署 9:30～10:30
 - ▶南方総合支所 14:00～16:00

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116

登米いのち ホットテレホン
はなそう とめ ☎0120(870)108
(登米市民専用)
登米いのちホットテレホンは…
○24時間いつでもかけられます。
○名前を名乗る必要はありません。
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

子ども夜間安心コール
●電話番号 #8000 (ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から) ☎022(212)9390 (ブッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間 毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内
休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応) ☎0229(24)2267

聴覚障がい者支援 みみサボサロンを開催

聴覚障がいのある人やそのご家族、関係者、どなたでも参加できます。手話や筆談など、安心できるコミュニケーション手段で対応しますので、お気軽にお越しください。

【日時・内容】平成28年1月26日(火) 午前10時30分～正午 ▼放っておくと恐ろしい病気「糖尿病」など、生活習慣病について保健師が話します

②「雛飾りづくり・交流サロン」 午後1時～2時30分 ▼ひな飾りを作りながら交流を楽しみます ※個別相談コーナーもあります

【会場】市役所南方庁舎2階(中会議室)

【対象者】市にお住まいの聴覚や言語などに障がいのある人、または家族、支援者や障がい福祉に興味のある人

【申し込み】事前申し込みは不要

【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)

☎0220(58)5552 FAX0220(58)2375

県聴覚障害者情報センター(みみやまみやぎ)

☎022(393)5501 FAX022(393)5502

「ご相談ください」認知症専門相談

高齢者で「最近物忘れが多くなった」「元気がなく何もやるうとしなくなった」「時間や場所が分からなくなった」「同じことを何度も繰り返す話をするようになった」などの気になる症状がありましたらご相談ください。精神科医が相談に応じます。予約制です。事前に地域包括支援センターかケアマネジャーにご連絡ください。

【日時】平成28年1月22日(金)午後

1時30分

【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)

【予約・問い合わせ】

▼追地域包括支援センター ☎0220(22)1152

▼中田・石越地域包括支援センター ☎0220(34)7611

石越分室

☎0228(34)4151

▼東和・登米地域包括支援センター ☎0220(53)4811

登米分室

☎0220(52)5090

▼米山・南方地域包括支援センター ☎0220(29)5821

津山・豊里地域包括支援センター ☎0225(68)3780

豊里分室

☎0225(76)4811

▼福祉事務所長寿介護課(介護給付係) ☎0220(58)5551

高齢者予防接種料金の一部を助成しています

高齢者に対して、次の予防接種料金の一部を助成しています。まだ接種されていない人は、早めにかかりつけ医とご相談ください。

●高齢者インフルエンザ予防接種

【対象者】

① 満65歳以上(平成27年12月31日現在)

※65歳を迎えてから接種してください

② 満60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより、免疫のいずれかの機能に日常生活が極度に制限される程度の障がいがある人(身体障害者手帳1級相当)

【接種期間】平成27年10月13日(火)～平成28年1月30日(土)

●高齢者肺炎球菌予防接種

【対象者】① 年度末の年齢が65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人

② 高齢者インフルエンザ予防接種対象者の②と同様

【接種期間】平成27年4月1日(水)～平成28年3月31日(木)

※対象年齢前に接種したい人や、対象年齢で接種できなかった人は、任意接種できます。

※一度助成を受けた人は対象外です。

【その他】どちらの予防接種も市内協力医療機関で接種できます。

大崎市民病院は紹介予約制外来です

大崎市民病院の受診には、保険医

療機関からの紹介状と事前の診療予約が必要です。

当院は、地域の医療機関では対応が難しい高度専門医療を提供する役割を担っています。地域の医療機関との役割分担、医療連携することで、地域全体の医療の質向上を目的としています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、小児科の受診の際、予約は不要ですが、できる限り紹介状をお持ちください。

「三世代コホート調査」にご協力ください

東北大学東北メディカル・メガバンク機構では、妊婦とその家族を対象に、三世代コホート調査を実施しています。

※コホート調査とは

子、父母、祖父母の三世代にわたって家族など、人の集団の健康に係り起こるさまざまなこと(病気の発生や悪化、あるいは死亡など)を把握し、状態の変化とその原因になることとの関連を明らかにしようとする調査です。調査結果は、協力いただいたご家族へ報告します。普段の健康管理に役立ててください。ご協力

いただける場合は、左記の連絡先までご連絡ください。

現在、三世代コホート調査への参加者は全国で3万人を超えています。母子の健康のために、生活習慣の改善に心がけましょう。

【連絡先】東北大学東北メディカル・メガバンク機構三世代コホート室 ☎022(718)5162

冬は特に注意 ノロウイルスによる食中毒

ノロウイルスによる食中毒は、ウイルスに感染した食品を食べることにより起こり、冬期に多く発生しています。食中毒を起こさないよう予防しましょう。

★主な予防方法

●手洗い トイレに行ったあとや、調理の際には、せっけんを使い爪の間、手の甲や手首などもしっかりと洗いましう。

●調理器具の消毒

調理後は洗剤でよく洗い、熱湯をかけて塩素系漂白剤につけるなどして、十分に消毒しましょう。

●調理のポイント

酢や湯通し程度の過熱でウイルスは死にません。食品の中心部を85度で1分以上加熱してから食べましょう。

情報場 Information

募集

「One Day」パソコン講習会 受講生を募集

【日時】平成28年1月21日(木)、22日(金)、28日(木)、29日(金)／午後1時30分～3時30分
※4日間で1講座です
【場所】南方住民情報センター(南方庁舎2階)
【内容】表計算ソフトエクセル2013(パソコン持ち込みの場合2007・2010でも可)を使用。数値や数式の表計算、基本的な表作成などを学びます
【受講対象】入門講習受講者または同程度の知識のある人
【対象者】市民または市内に勤務している人
【使用パソコン】情報センターのパソコン(ウインドウズ7)

を使用しますが、持ち込み(ウインドウズビスタまたはウインドウズ7・8)でも可。
【定員】各18人(先着順)
【参加費】1296円(テキスト代)
【申し込み・問い合わせ】南方住民情報センター「るるば」(受け付け)平成28年1月5日(火)午前9時から開始)
☎0220(58)5557
※開館日は、火・日曜日、祝日の午前9時～午後5時です

青年セミナー スノーボード教室開催

迫公民館では、スノーボード教室を開催、その参加者を募集します。
【日時】平成28年1月17日(日)午前7時～午後5時
【場所】岩手県夏油高原スキー場
【内容】①初級者(初心者)コース②中級者コース③上級者コース▼参加者のレベルに合わせ、インストラクターが楽しく分かりやすく指導します
【参加資格】20～40歳の男女
【募集人数】限定40人
【参加費】3千円(リフト5時間券代)
※昼食、レンタルなどは自己負担。個人で行くより

1400円お得です。
【募集期限】平成28年1月8日(金)
【問い合わせ】迫公民館
☎0220(22)7324

平成28年度 錦児童館の会員を募集

●児童クラブ会員
【対象】小学1～6年生
【定員】45人
【入会基準】仕事などで昼間保護者が家にいない家庭
【開設日】▼月・金曜日(下校後7時)▼土曜日(午前7時30分～午後6時、第2土曜日は休み)▼長期休業日(午前7時30分～午後7時)
【会費】有料(学年などにより金額が異なります)
●幼年クラブ会員
【対象地区】迫町森・北方・新田地区(地区別に開催)
※その他の地区の人も相談に応じます。お問い合わせください
【対象】1～4歳(親子での参加になります)
【定員】各地区15組程度
【開設日】▼森 毎週金曜日
▼北方 毎週水曜日▼新田 毎週木曜日(各地区午前9時30分～正午)
【会費】無料(ただし、おやつ

お知らせ

固定資産税償却資産 申告書の提出について

平成28年度の償却資産の申告時期が近づいてきました。賦課期日(平成28年1月1日)現在で、事業で使用する償却資産を所有している個人・事業所の皆さんは、平成28年2月1日(月)までに申告書を提出してください。
課税の対象となる償却資産は、土地および家屋以外の事業で使用される資産(構築物、機械および装置、車両および運搬具、工具・器具および備品など)です。早めの提出をお願いします。
【問い合わせ】総務部税務課

インターネット公売を 実施します

市税などの滞納により市が差し押さえた不動産をインターネットで売却します。
【公売方法】せり売り
【公売場所】ヤフー株式会社
が提供する公売に関するインターネットオークションシステム上
【URL】<http://koubauctions.yahoo.co.jp>

空き家は適正に 管理してください

(固定資産税係)
☎0220(22)2163
各総合支所市民課
平成25年現在、全国では約820万戸の空き家があり、この20年間で1.8倍に増加しています。そのうち一戸建て(木造)住宅が約220万戸で、賃貸用住宅を除いた場合、最も多くなっています。近年では、管理が行き届いていないものが増加傾向にあり、大きな問題となっています。市でも人口減少などにより空き家が増えています。空き家を放置すると、自然災害に

よる倒壊や建築材の飛散、防犯などで地域住民の生活環境に悪影響を及ぼします。
空き家の所有者、管理者は周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、適正な管理に努めるようお願いいたします。
【空き家の問題例】
▼防災性の低下(倒壊、外壁落下、火災)▼防犯性の低下(犯罪の誘発)▼衛生の悪化(ゴミ不法投棄、悪臭、獣害)▼景観の悪化など

ご利用ください 空き家情報バンク

市内にある賃貸や売却可能

な空き家の情報を募集しています。
提供された物件情報は、市の「空き家情報バンク」へ登録後、利用希望者へ情報提供します。
物件情報の提供希望者および利用希望者はお問い合わせください。
①登録物件が必ず売買、賃貸借できるとは限りません②市は、登録された物件情報の紹介や必要な連絡調整などはしますが、当事者間での賃貸借・売買に関する交渉、契約などの仲介はしません
【問い合わせ】企画部市民生活支援課(地域振興係)
☎0220(22)2173
✉shiminkatsudo@city.

市営住宅・定住促進住宅入居者を募集	
募集する住宅	
①市営住宅	迫新下谷地住宅24号(迫町北方字新下谷地114番地) ▶募集戸数=1戸(2K)/家賃月額3700円～5500円/駐車場なし
	登米遠見台第二住宅3号(登米町寺池上町56番地65) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額1万4800円～2万2000円/駐車場なし
	石越駅前第二住宅7号(石越町南郷字小谷地前126番地1) ▶募集戸数=1戸(3K)/家賃月額1万3200円～1万9600円/駐車場なし
②定住促進住宅	津山平形住宅1-6号、2-3号(津山町柳津字平形75番地1) ▶募集戸数=2戸(3DK)/家賃月額1万4100円～2万1000円/駐車場あり
	豊里定住促進住宅2号棟402号(豊里町小口前185番地4) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万7500円/駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅2号棟302号(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=3万500円/駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅2号棟402号(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万7500円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯。※市営住宅は低所得世帯であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの要件があります。詳しくは住宅都市整備課、または各総合支所市民課へお問い合わせください。
【申込期限】平成28年1月12日(火) ※期限厳守
【申し込み先】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階)
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅管理係)
☎0220(34)2316

農業委員会委員選挙人名簿の登録申請がなくなりました

農業委員会等に関する法律が平成27年8月に改正。農業委員の選出方法が、公選制から市町村長の選任制に変わりました。そのため農業委員会委員選挙人名簿は調製しないことになり、登録申請の必要がなくなりましたのでお知らせします。
【問い合わせ】
農業委員会事務局(農政総務課) ☎0220(34)2317
選挙管理委員会事務局 ☎0220(22)2198

満期を過ぎた郵便貯金はありませんか? 広告

郵政民営化(平成19年10月1日)より前に郵便局にお預けいただいた定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金は、法律の規定により、満期後20年2か月経つとお客様の権利が消滅し、払い戻しが受けられなくなります。払い戻しのお手続きはお早めにお問い合わせください。

お問い合わせ先
郵便局の窓口、ゆうちょ銀行店舗
またはコールセンター(0120-108420)

独立行政法人
郵便貯金・簡易生命保険管理機構
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1
電話 03-5472-7101

介護資格が1ヶ月で取得できる!介護の知識と技術が身につく! 広告

『介護職員初任者研修』
H28年1月開講 受講生募集!

受講料 79,000円
※税込、テキスト代金

- 5日(火)～平日 昼間コース全16日
- 23日(土)～土・日 昼間コース全17日
- 29日(金)～月・水・金 夜間コース全35日

詳しく知りたい方はお気軽にお問い合わせ下さい。

宮城介初第2-46号
介護職員研修事業所
ジップス佐沼校
<http://jips-sanuma.jp/> ☎0220-21-0255

確かな技術でまかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

- アクアショップKUMANEN
- BFCクマネン
- コインランドリー 清潔空間
- なごみの家 きらり

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田120番1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
<http://www.kumanen.jp> E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 1月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
5(火) ~ 29(金)	●シューズソルト絵手紙展「一葉来福」 【時間】午前10時～午後5時 (29日は正午まで) 【会場】2階レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
17(日)	●7周年記念チャリティーショー 萌翔 新春の舞 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】2,500円	萌乃会 ☎ 080(5228)4464
23(土) 30(土) 2/6(土) 13(土)	●第2回絵画ワークショップ～油絵編～ 【時間】午前10時～正午 【会場】練習室1 【参加費】1,000円(要申し込み)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
24(日)	●デビュー20周年記念ツアー 及川浩治ピアノ・リサイタル 【開演】午後2時 【会場】大ホール 【入場料】全席指定2,000円 (友の会1,400円)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111

※入場料金は前売り価格です。
※休館日：1月1日(金)～4日(月)、12日(火)、18日(月)、25日(月)

（保険料納付免除者を除く）で、年間60日以上農業に従事する60歳未満であれば誰でも加入できます（農業経営者のほか、農業に従事する家族も加入できます）。

●メリット
▼自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料の額は自由（月額2万～6万7千円）に決められます。また、農業経営の状況や老後設計に応じて、いつでも見直すことができます▼支払った保険料

は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税になります▼認定農業者など農業の担い手には、保険料の国庫補助（政策支援）があります

【問い合わせ】農業委員会事務局（農政総務係）
☎ 0220(34)2317

忘れていませんか 林業退職金共済制度

林業の仕事をしていたこと

はありますか。制度に加入して、退職金をまだ受け取っていない人を探しています。ご自身が、制度に加入していたか分からない人についてもお調べします。また、罹災された共済契約者および被災者の皆さんが、各種手続き（共済手帳の紛失、退職金の請求など）の必要が生じた場合は、最寄の支部または本部へお問い合わせください。

【問い合わせ】独立行政法人勤労者退職金共済機構（林業退職金共済事業部）
☎ 03(6731)2887

登米総合産業高等学校 同窓会「設立総会」

平成27年4月に開校した登米総合産業高校から、平成28年3月にはじめての卒業生が巣立ちます。それに先立ち、上沼高校と米山高校の同窓会が統合し、新たに「登米総合産業高等学校同窓会」を設立します。

左記のとおり設立総会を開催しますので、お気軽にご参加ください。

【日時】平成28年1月27日(水)午後6時

【場所】登米総合産業高等学校 総合産業教室1

【問い合わせ】登米総合産業高校同窓会設立準備委員会事務局
☎ 0220(34)4666

正しく使いましょ
110番通報

1月10日は「110番の日」です。110番通報は、緊急の場合に使われるべきものですが、本年1～10月の通報を見ると、間違いや無応答電話などが2万5千件と、全体の約20%を占めています。緊急の助けを求めるときにつながらないこともありますので、110番通報は正しく使いましょ。

また、県警では緊急時以外の相談窓口として、相談ダイヤル「#9110」を開設しています。緊急時以外の相談は、相談ダイヤルをご活用ください。

●「110番の日」広報キャンペーンを開催
佐沼警察署では、2015夏の甲子園決勝で大活躍した本市出身で仙台育英高等学校野球部員の佐藤将太郎を一日警察署長に委嘱し、キャンペーンを開催します。会場には、市観光PRキャラクター「はっぴー」や県警マスコット

【公売公告】平成28年1月7日(木)から各総合支所の掲示板に公示します

【日程】平成28年1月7日(木)午後1時からインターネットで閲覧可能

【参加申込期間】平成28年1月7日(木)午後1時～1月22日(金)午後11時

【入札期間】平成28年1月29日(金)午後1時～1月31日(日)午後11時

【問い合わせ】総務部収納対策課（徴収対策係）
☎ 0220(22)2169

宮城県市町村合同公売会 in 名取

県および市町村が税金などの滞納者から差し押さえた動産を売却します。入場無料で、掘り出し物がお得に買える機会です。ぜひご参加ください。

【日時】平成28年1月16日(土)午前10時30分(開場・物品の下見・公売の説明)午前9時30分

※出品物の都合で入札中止または回数などを変更する場合があります。

【会場】名取市文化会館(名取市増田字柳田520)

【当日必要なもの】購入代金、

印鑑、身分証明書、代理で入札する場合は委任状

【問い合わせ】県税務課
☎ 022(211)2326

地方税徴収対策室
☎ 022(211)6681
県ホームページ＝<http://www.pref.niigata.jp/soshiki/zeimu/goudoukoukaikai.html>

生活環境影響調査報告書の縦覧について

一般廃棄物処理施設であるクリーンセンターの老朽化により、新たな施設を整備します。

新たな施設の整備に伴い、一般廃棄物の焼却等処理による生活環境への影響を予測、評価するため、生活環境影響調査を実施し、調査結果を報告書にまとめました。

左記により、報告書の縦覧および意見書を提出できますので、お知らせします。

【縦覧場所】
▼環境事業所クリーンセンター(豊里町平林1117)
▼環境事業所衛生センター(南方町寺袋69)

【縦覧手続き】縦覧場所以用意する申込書を提出してください。市ホームページからもダウンロードできます。

【縦覧期間】平成28年1月5日(火)～2月4日(木)
※午前9時～午後4時30分(土、日、祝日を除く)

【意見書の提出】縦覧申し込みの際に受付にお問い合わせください。

【問い合わせ】環境事業所クリーンセンター
☎ 0225(76)0102
環境事業所衛生センター
☎ 0220(58)2064

ねんきんだより

新成人の皆さんへ
20歳になったら国民年金

国民年金は、老後のためだけでなく、病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときにも、受け取ることができる制度です。

20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納めることができます。いざというときのために、加入手続きをしましょう。

【猶予制度】
★学生納付特例制度
学生は、本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度です。

★若年者納付猶予制度
学生でない30歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予される制度です。

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200
【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】登米総合産業高校同窓会設立準備委員会事務局
☎ 0220(34)4666

正しく使いましょ
110番通報

1月10日は「110番の日」です。110番通報は、緊急の場合に使われるべきものですが、本年1～10月の通報を見ると、間違いや無応答電話などが2万5千件と、全体の約20%を占めています。緊急の助けを求めるときにつながらないこともありますので、110番通報は正しく使いましょ。

また、県警では緊急時以外の相談窓口として、相談ダイヤル「#9110」を開設しています。緊急時以外の相談は、相談ダイヤルをご活用ください。

●「110番の日」広報キャンペーンを開催
佐沼警察署では、2015夏の甲子園決勝で大活躍した本市出身で仙台育英高等学校野球部員の佐藤将太郎を一日警察署長に委嘱し、キャンペーンを開催します。会場には、市観光PRキャラクター「はっぴー」や県警マスコット

が猶予される制度です。対象は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する人です。

★若年者納付猶予制度
学生でない30歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予される制度です。

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200
【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

人と環境への新しい優しさを目指して
お気軽にご相談下さい

株式会社 清建
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

環境プロバイダ
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535

有限会社 清建物流
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535

有限会社 リースキン宮城
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所
すずらん託児室
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728

TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122

安心・安全・安価で予約承り中
お料理 2,000円より承ります (バス送迎無料)

株式会社 刺蒸くまがい
TEL.0220-34-5002(代)
TEL.0220-34-8707
TEL.0191-82-2946

思いやりと真心を感謝の気持ちにこめて
迫町佐沼中江にセレモニホールオープン!!

さぬま中江齋苑 (ツルハドラック佐沼店様前)
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

20期 葬儀料金
TEL.23-9270

1月の納税

国民健康保険税・・・第8期
介護保険料・・・・・・第8期
後期高齢者保険料・・・第7期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限／平成28年2月1日(月)

登米市の人口・世帯数

(平成27年11月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女	計(前月比)	
迫	7,548	10,279	10,905	21,184	(▲17)
登米	1,807	2,390	2,608	4,998	(▲6)
東和	2,423	3,332	3,461	6,793	(▲10)
中田	4,936	7,729	8,187	15,916	(▲2)
豊里	2,143	3,359	3,430	6,789	(▲11)
米山	2,854	4,700	4,929	9,629	(▲4)
石越	1,602	2,537	2,631	5,168	(▲8)
南方	2,641	4,299	4,542	8,841	(▲16)
津山	1,204	1,705	1,857	3,562	(▲3)
合計	27,158	40,330	42,550	82,880	(▲77)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成27年11月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H27	H26	増減数
人身事故発生件数	243件	285件	▲42件
死者数	2人	1人	1人
負傷者数	317人	343人	▲26人
物損事故発生件数	1,442件	1,547件	▲105件

※平成27年1月からの延べ件数

警察署からのお知らせ

○冬道の安全運転1・2・3運動を3月31日まで展開中
①1割のスピードダウン②2倍の車間距離③3分早めの出発
○これからの時期、出勤・通学時の滑走事故が多発します。安全な速度、十分な車間距離の保持など、安全運転に努めましょう

市内放射線の測定結果

測定日:平成27年12月10日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.06	晴れ
消防署北出張所(石越)	0.05	晴れ
消防署東出張所(東和)	0.05	晴れ
消防署津山出張所	0.06	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.05	晴れ
消防署西出張所(南方)	0.05	曇り

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

登米市結婚活動支援事業 関連イベントを開催

第3回結婚茶話会

「今どきの結婚」について気軽に語り合います。予約・参加費は不要。男性、女性

催し

わせい▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」

☎0220(21)1011
▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎0220(58)5552
※職業のあっせんではありませんのでご注意ください。

第5回自分磨きセミナー&出会イベント

「心もカラダもほっこりクッキング講座」
【日時】平成28年2月21日(日)午前10時30分～午後3時(受け付けは午前10時)
【場所】迫公民館(迫町佐沼字中江2丁目6-1)
【対象者】20～40歳代の独身男女

性、未婚者、既婚者、お父さん、お母さんなど、どなたでも参加できます。ご連絡お待ちしています。
【日時】平成28年2月7日(日)午後1時30分～4時
【場所】コンテナおおあみ(迫町佐沼字大綱218-1)
☎070(5474)4683
PO法人ハピふるWedding

人と野生動植物の共生を考えるつどいを開催

現在の市の自然環境は、経済性や効率性を優先した近代化や開発により、野生動植物の生態系が変化しています。自然を再生し、生態系を維持しながら自然環境を持続的に利用していく方法など、人

【定員】男女各8人
【参加費】男性3千円、女性千円
【準備物】エプロン、三角巾
【申込締め切り】平成28年2月13日(土)午後6時まで
【申し込み・問い合わせ】NPO法人ハピふるWedding
☎070(5474)4683

と自然が共生する地域づくりについて、一緒に考えてみませんか。入場は無料です。ご来場をお待ちしています。
【日時】平成28年1月23日(土)午後1時30分～4時40分
【場所】迫公民館(2階 軽運動場)
【内容】▼基調講演「生物多様性の保全に向けた子たちの可能性」田邊龍太氏(財団法人日本生態系協会)
▼事例発表「メダカの里づくり」笹村五郎氏(NPO法人イーハトーブ里山水棲生物保存会理事長)
【定員】50人
【申し込み方法】事前に電話、メールまたはファクシミリで市民生活部環境課へお申し込み

【おわびと訂正】本報とめ12月号11ページ「都市部で仕事をする登米市出身若者に聞く」の佐々木華奈さんのインタビュー記事で、「佐沼高校を卒業」としていましたが「登米高校を卒業」の誤りでした。おわびして訂正します。

【問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係)
☎0220(58)5553
☎0220(58)3345
✉kankyo@city.tomen.yagi.jp
【その他】この講演会は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施します。

【申し込み・問い合わせ】みやぎジョブカフェ

みやぎジョブカフェ 中小企業を支援します
【対象者】平成28年3月卒業予定者(大学院、大学、短大、高専、専門、専修学校)および若年求職者(44歳以下)
【参加企業】県内に本支店、営業所などがある企業約50社
【申し込み・問い合わせ】みやぎジョブカフェ 中小企

お子さんについての悩み相談

学業、不登校、いじめ、問題行動、子育てなど、子どもについての悩みを抱えていませんか。市教育研究所では、経験豊かな専門のカウンセラーを配置し、教育相談を行っています。相談は無料。秘密は厳守しますので安心してご相談ください。相談専用

一人で抱え込まないで 多重債務者無料法律相談

市では、弁護士、司法書士と協力し、債務の返済などについて無料相談に応じます。相談日は月2回です。秘密は厳守されますので、気軽にご相談ください。

障がい者の自立に向けて つくと相談を開設

【相談日時】平成28年1月26日(火)①午前9時30分～②午前11時～③午後1時30分～④午後3時～
【場所】県東部保健福祉事務所 登米地域事務所
【相談担当・申し込み・問い合わせ】

相談

【日時】平成28年1月14日(木)午前10時30分～午後5時20分

【場所】仙台市情報・産業プラザ(アエル5、6F)
【内容】合同適性試験、合同企業説明会、採用後のビジネスセミナーなどのセミナーをコーディネートし、求職者と企業を支援します

【日時】平成28年1月16日(土)午後1時30分～4時30分

【開催場所・予約受け付け】
①南三陸司法書士相談センター(南三陸町志津川字沼田160-1)
②石巻司法書士相談センター(石巻市鑄銭場5-9 いせんばプラザ102)
☎0225(96)3611
③大崎司法書士相談センター(大崎市古川旭4-2-1 アサヒビル102号室)

【日時】平成28年1月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階 中会議室)
【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所
☎0229(23)1200

【日時】平成28年1月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階 中会議室)
【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所
☎0229(23)1200

【日時】平成28年1月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階 中会議室)
【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所
☎0229(23)1200

【日時】平成28年1月9日(土)午前9時～午後3時

【場所】イオンタウン佐沼(セントラルコート)
【問い合わせ】佐沼警察署地域課
☎0220(22)2121

【日時】平成28年1月18日(月)、26日(火)／2月8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)／3月8日(火)、14日(月)

【相談開始時間】午前10時、11時、午後1時、2時、3時、4時
※相談時間は50分間です。
【相談場所】市視聴覚センター2階「教育相談室」
※来所したら、直接2階相談室前でお待ちください。
【相談方法】面接相談、電話相談。どちらでも電話による予約が必要です。
【相談専用電話】☎0220(22)8125
【予約・問い合わせ】市教育研究所
☎0220(22)8029

【日時】平成28年1月8日(金)、1月22日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター
【担当】8日＝柳瀨勝一(司法書士)、22日＝開発健次(弁護士)
【相談専用電話】☎0220(34)2308
【相談料】無料(要電話予約)
【問い合わせ】産業経済部商工観光課(商工業振興係)
☎0220(34)2734

【日時】平成28年1月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階 中会議室)
【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所
☎0229(23)1200

【日時】平成28年1月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階 中会議室)
【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所
☎0229(23)1200

【日時】平成28年1月18日(月)、26日(火)／2月8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)／3月8日(火)、14日(月)

【相談開始時間】午前10時、11時、午後1時、2時、3時、4時
※相談時間は50分間です。
【相談場所】市視聴覚センター2階「教育相談室」
※来所したら、直接2階相談室前でお待ちください。
【相談方法】面接相談、電話相談。どちらでも電話による予約が必要です。
【相談専用電話】☎0220(22)8125
【予約・問い合わせ】市教育研究所
☎0220(22)8029

【日時】平成28年1月18日(月)、26日(火)／2月8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)／3月8日(火)、14日(月)

【相談開始時間】午前10時、11時、午後1時、2時、3時、4時
※相談時間は50分間です。
【相談場所】市視聴覚センター2階「教育相談室」
※来所したら、直接2階相談室前でお待ちください。
【相談方法】面接相談、電話相談。どちらでも電話による予約が必要です。
【相談専用電話】☎0220(22)8125
【予約・問い合わせ】市教育研究所
☎0220(22)8029

【日時】平成28年1月8日(金)、1月22日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター
【担当】8日＝柳瀨勝一(司法書士)、22日＝開発健次(弁護士)
【相談専用電話】☎0220(34)2308
【相談料】無料(要電話予約)
【問い合わせ】産業経済部商工観光課(商工業振興係)
☎0220(34)2734

【日時】平成28年1月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階 中会議室)
【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所
☎0229(23)1200

【日時】平成28年1月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階 中会議室)
【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所
☎0229(23)1200

藤野尚之

第54回全国俳句大会
秀逸賞を受賞
迫町光ヶ丘東 昭和11年生まれ

Naoyuki Fujino



「努力してきたことが評価されてうれしい」と笑顔で話す藤野さん。9月8日、第54回全国俳句大会(公益社団法人俳人協会主催)は東京の有楽町朝日ホールで開かれ、最優秀賞である大会賞に次ぐ秀逸賞に選ばれた。受賞は、昨年引き続き二度目。

月12日を表し、雄島は松島町にある芭蕉が訪れた島のこと。雄島の松が、風に吹かれている風景を詠んだ。今大会では「特選以上の入賞」を目標に掲げ、俳句作りを取り組んだ。芭蕉に関連する句を作りたいたいと思い、雄島に出掛けた。松林を歩いていると、松が風に吹かれてざわついていた。それを見た瞬間に句をひらめいた。「これはよくできた」と、上位入賞の期待が膨らんだ。

俳句とは、五・七・五の十七音から成る定型詩。「季語」と呼ばれる季節を表す言葉を含まなければならないというルールがある。大会を主催する俳人協会は、国内に3つある大きな団体の一つ。今大会に1万3214句の投句があり、藤野さんは約40句を投句した。「下手な鉄砲も数撃ちや当る」と、俳句の先輩から言われ多く出すようになった。今ではそれがモットーになって

いる。藤野さんは自然を詠んだ俳句が得意だ。自身の体験を基にしたものが多く、抽象的な表現を避けるようにしている。「聞く人、見た人にもイメージが伝わりやすいように」するためだ。今回受賞した句も、実際に現地に赴き、自然を感じて詠んだものである。俳句を始めたきっかけは、14年ほど前に、友達数人とヨーロッパ旅行したときのこと。友達が俳句を詠み始めた

ので、「大したことないよ」と思い参加。「全然だめ。こんな俳句じゃない」と言われ、悔しかったので俳句を始めた。「人がご飯を食べて元気になるように、句を詠むと元気になる」藤野さんにとって、俳句は人生の友と言える。句の材料はどこにでもあるので、外出するときはペンとメモ帳を欠かさず持ち歩いている。「次は大会賞を取りたい」と、今日も俳句を詠んでいる。

Sota Miura



三浦宗大

NPB 12球団ジュニアトーナメント
楽天イーグルスジュニア選抜選手
佐沼小6年 迫町錦西

日本野球機構(NPB)とプロ野球12球団が連携し「子どもたちが『プロ野球への夢』という目標をより身近に持てるように」と開催している「NPB 12球団ジュニアトーナメント」。このトーナメントに出場する「楽天イーグルスジュニア」(以下、楽天ジュニア)に佐沼小ジャイアンツに所属する三浦宗大投手が選ばれた。楽天ジュニアは、東北6県、約2万2千人の野球プレーヤーの中から18人を選出。市

内からは、3年前加賀野ジュニアハリケーンの阿部大夢(現仙台育英学園秀光中)以来2人目の選出となる。三浦は「練習後、整理している時に、コーチから伝えられました。そのときは、びっくりして何も言えませんでした」と笑顔で話す。三浦が野球と出会ったのは4歳頃。2歳年上の兄と、自宅駐車場で小さいバット使って遊び始めたのがきっかけ。それから天気さえ良ければ、近所の友達と野球を楽しんでいた。

本格的に始めたのは小2の時。兄と共に佐沼小ジャイアンツに入った。そこから、めきめきと頭角を現す。持ち前の身体能力で、二塁手のレギュラーの座を小4で勝ち取る。新人メンバーでは、投手として活躍。その後、遊撃手、投手へとポジションを移した。本年度は、投打の柱として獅子奮迅の大活躍。JA共済県大会優勝、県ジャンボ大会

3位、県学童大会、ベスト8入りに貢献。古豪ジャイアンツ復活を県内にアピールした。三浦の売りは最高120km/hの速球と県内トップクラスの制球力。また、小学生離れしたスイングスピードと快速を持ち、投走打三拍子そろったマルチプレーヤーだ。「楽天ジュニアは、選手全員のレベルが高く、プレーしていて楽しいです。でも、ジャイアンツの仲間がいないので、少し寂しい」と仲間思いの一

面を見せる。大会は12月27日から3日間の日程で、宮崎県のサンマリノスタジアム宮崎などを会場にグループリーグと決勝トーナメントで争われる。「ジャイアンツの代表として、頑張ります。目標は、1試合でも多く出場しての優勝です。負けるの大嫌いなんで」強い気持ちを持った心優しい負けず嫌いは、06年からの優勝という、少し早めのお年玉を宮城に持ち帰ってくる。

ときめき人

Tokimeki bito

登米地区 交通安全協会 A チーム

高齢者自転車大会 県大会で団体優勝



Profile

登米地区交通安全協会 登米 A チーム
左から金田庄七さん(77) (登米町・峯畑)、菅野健
一郎さん(72) (登米町・下り松)、佐々木康明さん(69)
(登米町・九日町)、阿部進さん(78) (登米町・大谷地)

年齢を感じさせない機敏な動きで自転車に乗るのは、10月31日に仙台市で開催された「第11回交通安全高齢者自転車大会」で団体優勝を果たした『登米 A チーム』の金田庄七さん、阿部進さん、菅野健一郎さんの3人。

高齢者自転車大会は65歳以上が対象で、板乗りや8の字走行などの技能走行と、一時停止や踏切などの法令走行を減点方式で審査し合計得点で競います。今回は県内各地から20チームが参加しました。

チームの皆さんは、大会の約2週間前から練習を開始。指導員の佐々木康明さん指導の下、スマートフォンでの動画撮影などを取り入れながら、自分たちの運転などを改善しました。

リーダーの金田さんは「今回の優勝は交通安全協会と登米警察署のバックアップがあつてのこと。指

導員はもちろん、交通安全協会、登米警察署皆様のご指導のおかげです。本当に皆さんに感謝しています。また来年も出場したいですね」と笑顔で話します。登米署管内の出場チームは昨年でも団体で優勝、3位に輝いており、これまで計6回の団体優勝を果たしています。

「登米署管内では3年間交通死亡事故ゼロを記録しています。これも一人一人の心がけによるもので、今回の受賞は地域総ぐるみの取り組みの結果。2連覇を達成できたことは本当に素晴らしいことです」と登米警察署花田啓太交通課長。

「今回の受賞をきっかけに、自転車を通じて地域の交通安全リーダーとして貢献したいです」と笑顔で話す皆さん。長い人生経験と技術が地域に安全・安心をもたらします。

編集後記

▼2015年は、公私ともに大きな変化があった年。一番大きな出来事はこの仕事に戻ったこと。10年間、中でのデスクワークが中心だったので、取材の楽しさを忘れていた。多くの皆さんと話をし、元気をもらえらること。2016年も元気をもらいにまちへ出ます。(及川)

▼2016年は申年。「サル」は古来から不幸が去る、苦難が去るなどの縁起の良い動物として親しまれてきた動物だそうです。今年も取材を通じていろんな人との出会いがありました。来年も木から木へと飛び回っているサルのように、いろいろな所へ取材に出掛けたいと思います。(佐藤)

▼今年も残り数日。月日が過ぎるのを早く感じます。冬といえば、雪や路面凍結の季節です。毎年、びくびくしながら運転。何年経っても慣れません。私自身、何度も怖い経験をしました。自分だけでなく、相手にもやさしい運転を心掛けようと思います。(田代)



モバイルとめ

(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

